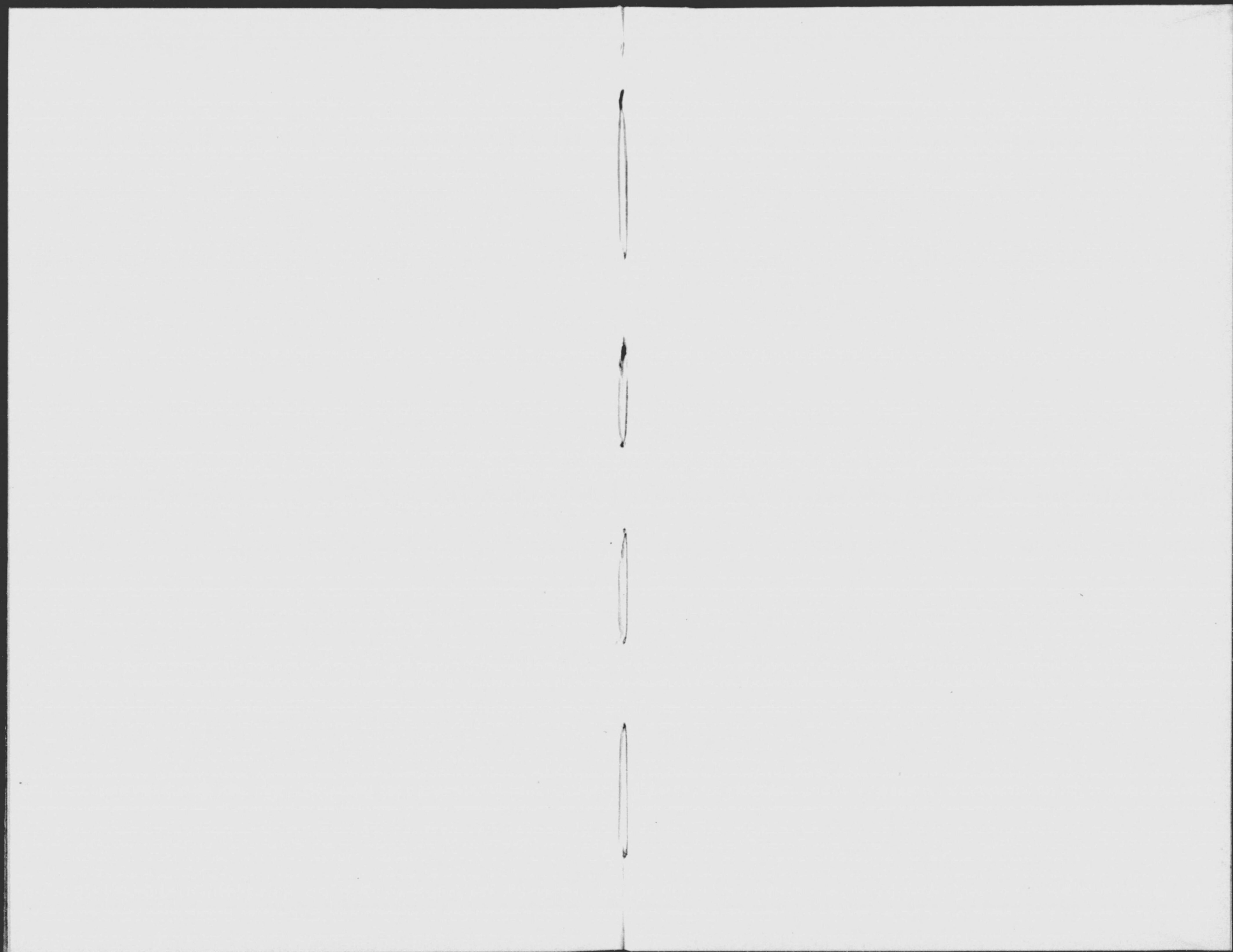


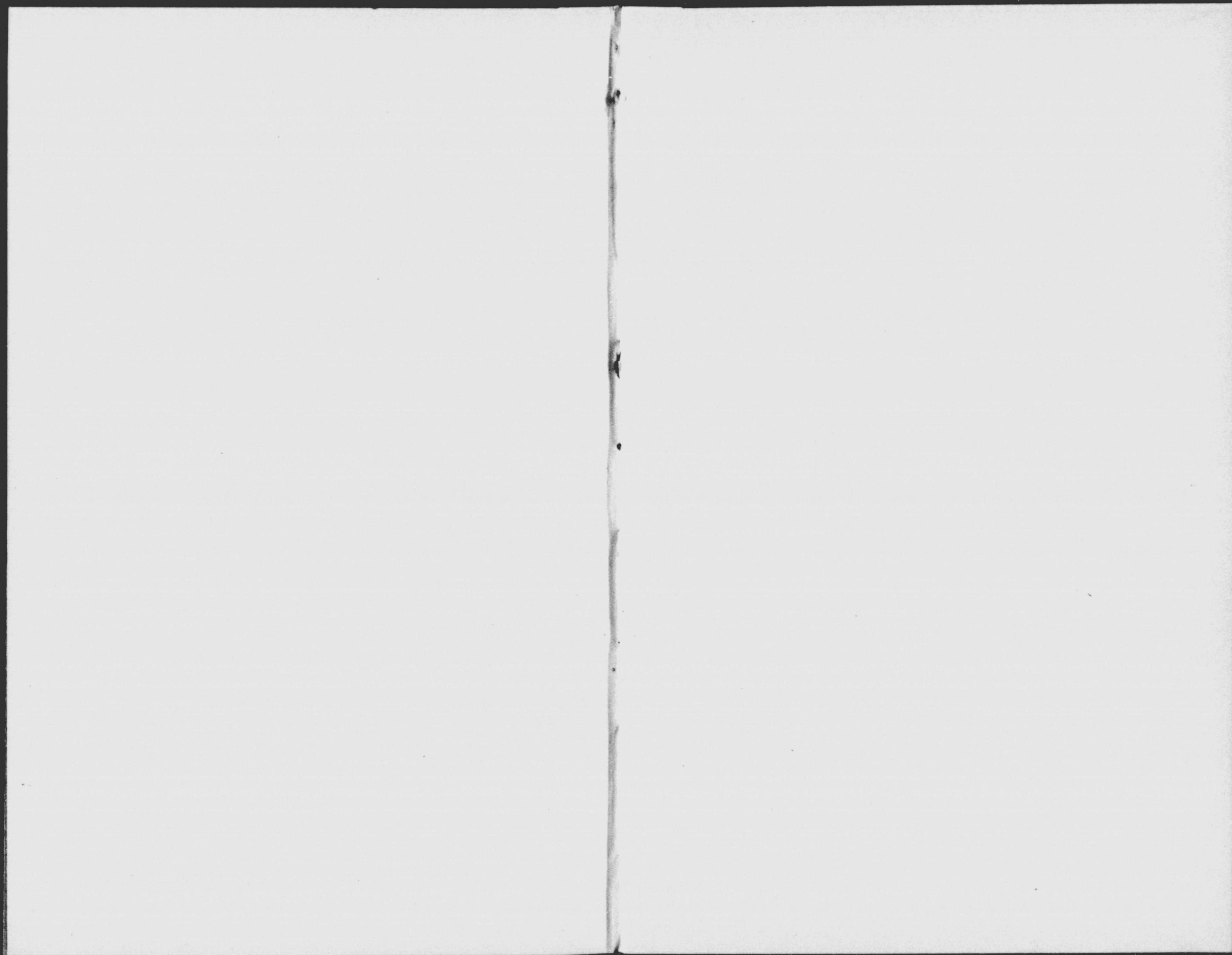
14.4

945











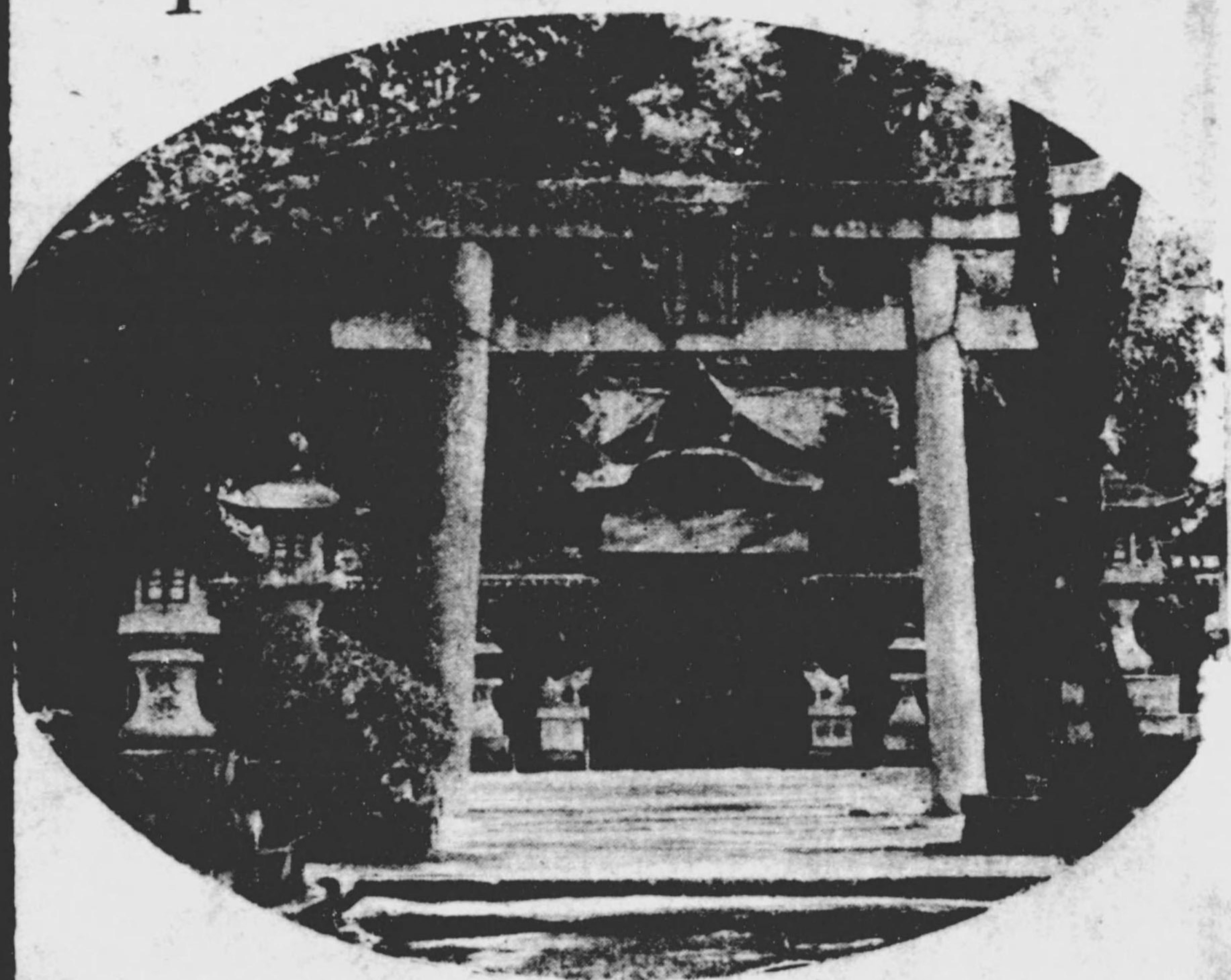
I6W-29

14.4

斑一治縣

945

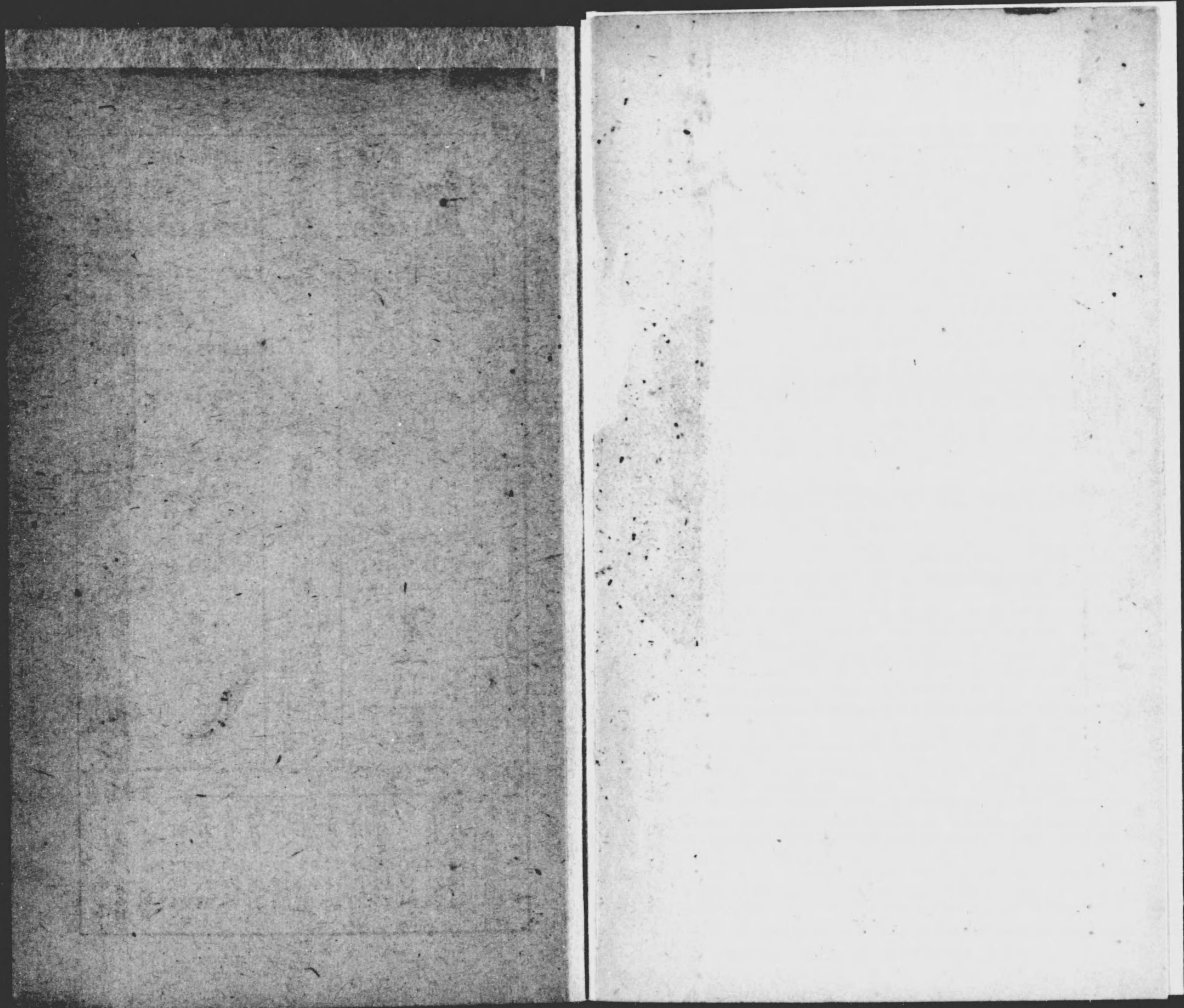
1



大分郡東植田村  
國幣中社 西寒田神社

昭和十八年







大  
一 一月 日のちつとじつひ (金)  
一 三月 日のちつとじつひ (月)  
一 五月 日のちつとじつひ (土)  
一 七月 日のちつとじつひ (木)  
一 八月 日のちつとじつひ (日)  
一 十月 日のちつとじつひ (金)  
一 十二月 日のちつとじつひ (水)

四 元始 方 拜  
一 一月 三日  
一 二月 五日  
一 三月 七日  
一 四月 九日  
一 五月 十一日  
一 六月 十三日  
一 七月 十五日  
一 八月 十七日  
一 九月 十九日  
一 十月 廿一日  
一 十一月 廿三日  
一 十二月 廿五日

神武天皇 即位 二千六百三年 昭和六年略曆  
西元 千九百四十三年  
平年 三百六十五日

天 長 節  
秋 皇 祭  
神 嘗 祭  
明 治 祭  
新 嘗 祭  
大 正 天皇 祭

入 梅 六月十二日  
夏 至 六月廿二日  
半 夏 至 七月三日  
冬 至 九月二日

社 日 三月二十一日  
三月二十七日

小  
一 二月 日のちつとじつひ (月)  
一 四月 日のちつとじつひ (木)  
一 六月 日のちつとじつひ (火)  
一 九月 日のちつとじつひ (水)  
一 十二月 日のちつとじつひ (月)  
土 用 一月十七日 一月十八日 一月二十日 一月二十一日 一月二十二日 一月二十三日 一月二十四日 一月二十五日 一月二十六日 一月二十七日 一月二十八日 一月二十九日 一月三十日

立 春 二 月 四 日  
立 夏 五 月 六 日  
立 秋 八 月 八 日  
立 冬 十 一 月 八 日

統計は池  
路を照す  
照明臺

日 曜 表

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
3	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15
10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25

陸 軍 日 記  
海 軍 日 記  
日 記  
五月二十七日





大分縣治一斑





14.4  
945

昭和十八年版

# 大分縣治一斑

## 凡例

- 一、本編ハ主トシテ昭和十六年ノ事實ヲ掲クト雖尙最近ノ事實ヲ掲クルモノハ之ニ依リ定期調査ノモノハ各其ノ年ニ於ケル事實ヲ登載セリ
- 一、表中—ハ事實ナキモノ?印ハ調査未了若ハ事實不詳ノモノナリ

昭和十八年三月

# 大分縣知事官房調査課



昭和十八年版

# 大分縣治一斑目次

## ◎概設

第一	縣管轄ノ沿革	六
第二	本縣ノ位置	九
第三	山川	九
第四	河川	二
第五	官有地	三
第六	民有有租地	四
第七	民有免租地	四
第八	民有年期地	五
第九	郡市區劃	六
第一〇	警察區劃	七

## ◎氣象

第一	測候所及觀測所	九
第二	警報信號所	〇

## ◎戶口

第一	郡市別人口	二
第二	國勢調查結果世帶人口(郡市別)	三
第三	國勢調查結果世帶スル(市町村別)	三
第四	人口出入	三
第五	現在人口動態總覽	三
第六	職業別戶數	三
第七	職業別戶數	三
第八	職業別戶數	三
第九	職業別戶數	三

## ◎交通

第一	日豊久大豊肥線鐵道	三
----	-----------	---



第二一	別府大分電氣鐵道	三
第二二	輕便鐵道	三
第二三	郵便局	三
第二四	郵便物	三
第二五	電報	三
<b>● 土 功</b>		
第二六	道路延長	三
第二七	橋梁及溜池	三
第二八	水害損失價額	三
第二九	風潮被害價額	三
<b>● 產 業</b>		
○ 生產物價額累年比較		
○ 農 業		
第三〇	耕地面積	三
第三一	農家準農家數	三
第三二	農家準農家自作別	三

第三三	米	四〇
第三四	麥	四〇
第三五	茶	四一
第三六	綠肥用及飼料用作物	四二
第三七	肥料消費高	四三
第三八	農產物	四三
第三九	果實	四七
第四〇	販賣用農產加工品生產	四八
<b>● 蠶 糸 業</b>		
第四一	桑栽培者數及栽培現在面積	四九
第四二	桑 苗	四九
第四三	蠶種製造	四九
第四四	繭	五〇
第四五	生糸製造高	五〇
第四六	販賣用真綿生產	五〇
<b>● 畜 產</b>		



第四七	家畜飼養者數及飼養頭數	三
第四八	家畜生產斃死頭數	三
第四九	家兔飼養者數及飼養頭數	三
第五〇	養雞農業者數及飼養羽數	三
第五一	鷄卵及初生雛販賣數量	三

● 山林

第五二	國有林	三
第五三	公私有林野面積	四
第五四	公私有林野放牧	四
第五五	森林業自營世帶及私有林管理者數	五
第五六	專業兼業別製炭業經營者數	五
第五七	造林用苗木	六
第五八	公私有林造林面積	七
第五九	林野產物	七

● 魚業

第六〇	魚船	九
-----	----	---

第六一	水產業經營者數及水產業被傭勞動者數	五
第六二	漁業種別經營體ノ漁業從事者數	六〇
第六三	水產增殖	六〇
第六四	水田養魚	六二
第六五	漁獲高	六三
第六六	販賣用水產加工品生產	六三

● 鑛業

第六七	鑛山鑛區	六四
第六八	鑛產	六四

● 商業

第六九	主要港灣移出入貨物價額	六五
第七〇	會社	六六
第七一	銀行	六七
第七二	銀行(出納)	六六
第七三	銀行(預金)	六六
第七四	銀行(貸付)	六九



第七五	銀行(手形).....	九六
第七六	銀行(內國爲替).....	七〇
第七七	郵便貯金.....	七〇
第七八	自作農創設維持資金貸付成績.....	七

●產業諸團體

第七九	農會.....	七三
第八〇	重要物產同業組合.....	七三
第八一	漁業組合聯合會.....	七三
第八二	水產會.....	七六
第八三	酒造組合.....	七六
第八四	畜產組合.....	七六
第八五	家畜保險組合.....	七六
第八六	蠶糸業組合.....	七九
第八七	負債整理組合.....	八〇
第八八	產業組合.....	八〇
第八九	農業倉庫.....	八二

第九〇	漁業組合.....	八二
第九一	普通水利組合.....	八二
第九二	工業組合、商業組合.....	八三

●社 寺

第九三	神社及神職.....	八三
第九四	寺院及住職.....	八四

●教 育

第九五	學齡兒童.....	八五
第九六	學齡兒童就學.....	八五
第九七	學齡兒童不就學.....	八六
第九八	市町村立國民學校.....	八七
第九九	市町 國民學校正教科 村立 兒童數及卒業者.....	八七
第一〇〇	市町村立國民學校教員.....	八八
第一〇一	幼稚園.....	八八
第一〇二	公私立青年學校.....	八九
第一〇三	師範學校.....	九〇

第一〇四	附屬國民學校.....	九〇
第一〇五	中學校.....	九二
第一〇六	女學校.....	九二
第一〇七	實業學校.....	九三
第一〇八	公立學校.....	九四
第一〇九	公學費支出.....	九四
第一一〇	公學收入.....	九五
第一一一	公學資產.....	九五

●衛 生

第一一二	病院.....	九六
第一一三	醫師.....	九六
第一一四	商科醫藥劑師及其他.....	九七
第一一五	傳染病患者.....	九七
第一一六	痘種.....	九八
第一一七	鑛泉.....	九八

第一一八	犯罪事件.....	九九
第一一九	拘留及科料刑人員.....	九九
第一二〇	興行場.....	一〇〇

●裁判及登記

○民事裁判

第一二一	地方裁判所第一豫審 事件件數種類ノ一.....	一〇一
第一二二	地方裁判所第一審事件種類ノ二.....	一〇一
第一二三	地方裁判所控訴件數種類ノ一.....	一〇二
第一二四	地方裁判所控訴件數種類ノ二.....	一〇二
第一二五	地方裁判所第一審 訴訟金額價額階級.....	一〇三
第一二六	區裁判所第一審事 件件數種類ノ一.....	一〇四
第一二七	區裁判所第一審事 件件數種類ノ二.....	一〇四
第一二八	區裁判所第一審事 件金額價額階級.....	一〇五

●刑務及保安



第一二九 和解件數……………一〇六  
 第一三〇 督促件數……………一〇六

● 登記

第一三一 登録稅ヲ課スル不動産船舶登記……………一〇七  
 第一三二 登録稅ヲ課セサル不動産及船舶登記……………一〇九  
 第一三三 諸種ノ登記……………一一〇

● 刑事裁判

第一三四 各種犯罪被告人員……………一一三  
 第一三五 刑法犯ノ受理終局未終局件數……………一一三  
 第一三六 刑法犯ノ總件數及終局未終局人員……………一一四  
 第一三七 刑法犯懲役禁錮細別……………一一四  
 第一三八 特別法犯ノ受理終局未終局件數……………一一五

第一三九 特別法犯ノ總件數及終局未終局人員……………一一五  
 第一四〇 特別法犯懲役禁錮細別……………一一六  
 第一四一 違警罪即決ニ對スル正式裁判……………一一七

● 刑務所

第一四二 在監人出入……………一二七  
 第一四三 在監人員……………一二八  
 第一四四 在監延人員及概數……………一二九

● 社會

第一四五 職業紹介所……………一三〇  
 第一四六 少年救護院……………一三一  
 第一四七 養老院……………一三一  
 第一四八 育兒院……………一三二  
 第一四九 褒賞ノ一……………一三三  
 第一五〇 褒賞ノ二……………一三三  
 第一五一 赤十字社員……………一三三



第一五二	愛國婦人會員	一三五
第一五三	日本海員救濟會員	一三三
第一五四	軍事扶助	一三四
第一五五	住宅組合	一三四

● 議 會

第一五六	貴族院多額納稅者互選有權者	一三五
第一五七	衆議院議員並選舉有權者	一三五
第一五八	縣會議員並選舉有權者	一三六
第一五九	縣會開會	一三六
第一六〇	縣參事會	一三七
第一六一	市町村會議員並選舉有權者	一三七

● 本縣内ノ國富

第一六二	本縣内ノ國富ノ一	一三八
第一六三	本縣内ノ國富ノ二	一三八

● 財 政

第一六四	國 稅	一四〇
第一六五	本縣主管國庫歲入	一三一
第一六六	本縣主管國庫歲出	一三一
第一六七	縣歲入	一三七
第一六八	縣歲出	一三九
第一六九	市町村歲入	一四二
第一七〇	市町村歲出	一四三
第一七一	水利組合歲入	一四四
第一七二	水利組合歲出	一四四

● 官公吏及文書

第一七三	縣官吏其他	一四七
第一七四	市町村吏員	一四四
第一七五	收發文書	一四四

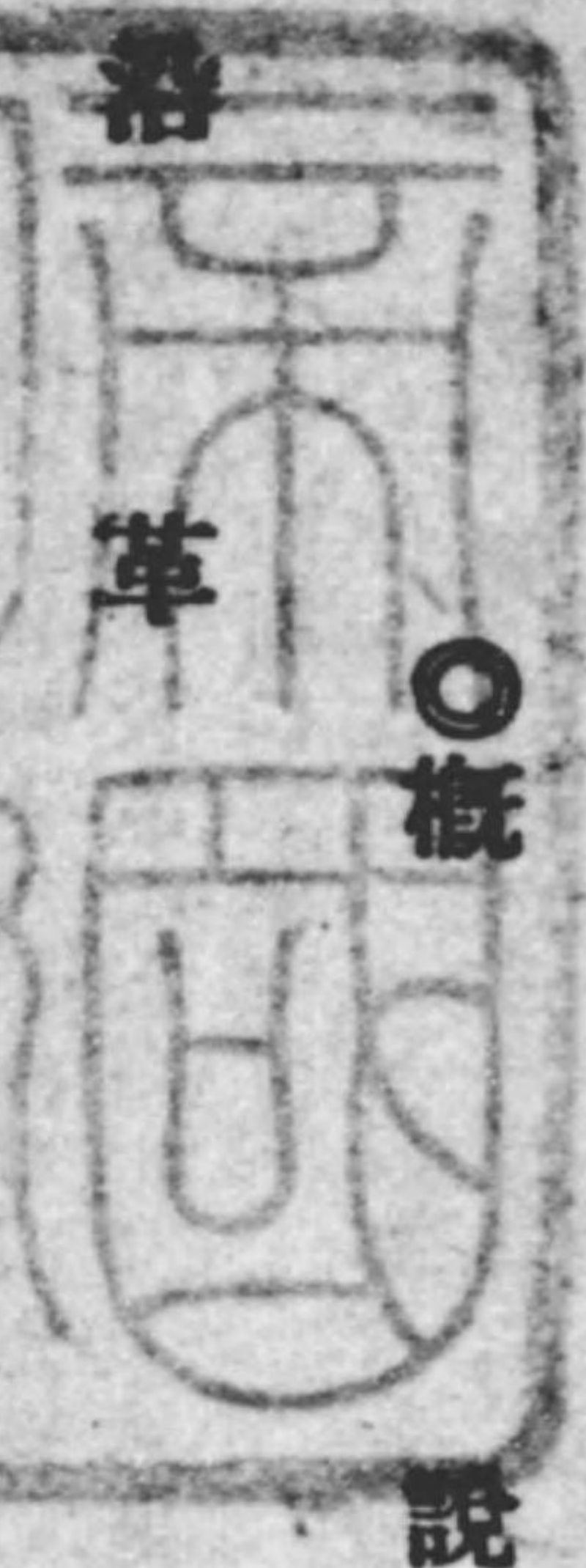


附 錄

第一	名勝舊蹟……………	一
第二	官國幣社縣社……………	八
第三	著名ノ寺院……………	三
第四	國 寶……………	一五
第五	名 勝……………	一八
第六	天然記念物……………	一八
第七	史 蹟……………	二〇
第八	縣指定ノ史蹟……………	二三
第九	重要美術品……………	二二
第一〇	開廳以來ノ長官……………	二四
第一一	貴族院議員……………	二六
第一二	衆議院議員……………	二七
第一三	縣會議員……………	二七
第一四	「メートル法」下尺貫法ノ換算表……………	三〇
第一五	本廳及市町村役場通信機關調……………	三三



縣治一斑



太古は漢たるも、史筆に依れば往古豊前豊後一帯の地は單に豊の國と唱へしを文武帝の頃前後二

圖に分封せられたり。豊後は中古大神姓の氏族繁榮し、壽永の頃は緒方、白杵の諸氏著れ、平氏覆滅の後鎌倉幕府の

統治する所となり、源賴朝庶子大友能直を以て二豊の守護職に任せしより大友氏奕世豊後に據り

て其の勢力漸次強化擴大し、九州に雄飛すること前後四百年、就中二十一代宗麟大友義鎮の覇業

は九州西國を風靡し、大小城主の隸屬するもの二百七十有餘、神宮寺浦を中心として泰西文化を

輸入せる府内は人口僅に二十萬を越へ、其繁華殷賑は京、鎌倉にも劣らざるの黄金時代を現出せ

しが、其子二十二代義統に及び罪を朝鮮の役に得、文祿二年遂に秀吉の爲めに國除せらるるに

至れり。徳川氏に至り其の鎖國政策と諸侯牽制の術策とに依り、二豊の地は遂に中津（奥平氏十

萬石）岡（中川氏七萬四千餘石）白杵（稻葉氏五萬石）杵築（松平三萬二千石）日出（木下氏二萬五

千石）府内（大給氏二萬千餘石）佐伯（毛利氏二萬石）森（久留島氏一萬二千餘石）の諸藩並びに熊本

「所領一萬三千餘石）延岡「所領二萬餘石」島原「一萬四千餘石」の各藩に分封せられ、此の外府内、



日出、杵築の分地九千八百石、時枝領五千石、宇佐神領千石等を除き剩す所は天領として悉く幕府直轄の地と定められたり、明治四年廢藩置縣の際豊後一國を大分縣となし、縣廳は府内城趾に置きたりしが、同九年下毛、宇佐二郡を福開縣より割きて大分縣に編入し、爾後明治十一年十一月大小區制を廢して郡町村を編成(郡十二、町九、村千八百二十八)と越えて明治二十二年四月町村制を施行し町十四、村二百六十五、次いで同二十四年四月郡制、八月縣制の施行を觀大正十二年には郡制の廢止あり一面明治四十四年以降大分町、別府町、中津町、日田町、佐伯町相次いで市制を施行其の他各町村の廢置分合幾多の變遷を経て現今に至れり。

### 位置、廣袤、面積

本縣は九州の北東部の一角を占め、豊後一圓及豊前の内宇佐、下毛二郡を管轄し、東豊後水道を隔て、指呼の間に伊豫を望み、北周防難を控へ、南西は山嶽を経て日肥兩筑に接し、極東南海部郡東中浦村鶴見崎より極西日田郡夜明村關迄東西三十里、極南南海部郡名護屋村土崎より極北東國東郡伊美村伊美龜崎迄南北二十六里、面積四百十方里、之を五市十二郡二百十八(昭和十八年一月現在)町村に分割せり。

### 地勢、地味

縣内所高山峻嶺起伏重疊し、廣漠たる大平原に惠まる、ことなきも、沿海部並びに諸所の山陬河口には數多の小平地を形成し、概れ土壤肥沃水利に富み水田墾げ百穀穰り、眞に豊の眞名に

背かず、山嶽の高峻なるは久住を最とし、大船、九重、祖母の諸山之に亞ぎ、久住、大船、由布鶴見は南より北に縱走して阿蘇帯火山脈を形成し、鎮泉隨所に湧出し、別府温泉著聞す。別に英彦山脈は西より北へ横亘して二豊の大勢を劃し、河川の方向亦隨て一ならず、玖珠、日田二郡の地を瀧流する三隈川は更に西流して筑紫次郎となり、大野、直入兩郡の水を蒐めて北流し大分郡の東部に注ぐものに大野川有り、其の他番匠、大分、桂、驛館、山國の諸川は東流又は北流して各一郡を區劃するの巨川たり。之を要するに西南部大野、直入、玖珠、日田諸郡は山間の高冷地下毛、宇佐、東西國東、遠見、大分、南北海部の八郡は瀕海の温暖地にして、農産水産共に豊なり。

### 交通

國有には九州一周の環狀鐵道日豊線、橫斷鐵道豊肥線及久大線、又目下工事中の添田線も宮原線も一部開通せり、私設經營には耶馬溪、豊州、宇佐參宮、國東の各鐵道及大分龜川間の電氣鐵道の敷設あり、國道は第三號線、特第二十二號線の二線、縣道は二百三十六線ありて縱橫管内を通じ自動車交通亦年と共に發達整備し省管自動車佐賀關線及白三線を始め數多の貨客自動車津々浦々に普及して交通運輸の便利昔日の比にあらず。海上には京阪、中國間交通上の要津大分港あり且に重要港灣に指定せられ昭和七年度より國營改修工事を開始し將に其の面目を一新せんとす、此の外中津、竹田津、國東、守江、別府、佐賀關、白杵、津久見、佐伯、蒲江等の良港多く日夜船舶の出入絶へず。



觀光

縣内には名勝、舊蹟頗る多く其の主要なるものを擧ぐれば、日豊線鐵道沿線に天下の樂園別府温泉を始め官幣大社宇佐神宮、耶馬溪あり、中津市は一代の先覺者福澤諭吉翁誕生の地にして市内自性寺の大雅堂は其の名夙に著る。縣廳所在地大分市は縣下第一の都會にして市内に大友氏の南蠻貿易址神宮寺浦、元町石佛あり。佐賀關町の製練所は雲表に聳ゆる東洋第一の煙突を以て名高く五市に亞ぐ臼杵町には我國古代美術の面影を偲ぶ臼杵石佛あり、津久見町は豊後密柑の本場にてセメントの生産地なり。佐伯市は佐伯灣に臨み良港として著はる。

豊肥線鐵道沿線に川登村には本邦屈指の風連鐘乳洞あり竹田町は軍神廣瀨中佐の出身地にして往時天下の三堅城の一と稱せられし岡城跡あり、久住町には縣種畜場あり北方九重山麓は昭和九年阿蘇國立公園區域に指定せられ久住高原世に著る。

久大線鐵道沿線に秀峰由布山麓に仙境由布院温泉あり内外の避暑客集まり沿線一帶鑛泉の湧出するもの多く湯平・天ヶ瀬温泉・寒ノ地獄等人口に膾炙す。日田市は水郷として天下に喧傳し碩學廣瀬淡窓の咸宜園趾あり、中津江村には鯛生金山あり。

産業

縣民は農業を主とし商業、工業、鑛業、水産業等之に並ぎ各所に於ける水力發電工事の完成に伴ひ電力企業の著しき發達を見一面大規模工場誘致の畫策も著々實現して製鍊所、セメント、紡績

製糸、人造羊毛、染料製造工場等續々設置せられ就中時局産業の發達活況顯著なるものあり。米、麥、紡績、清酒、セメント、青蓮、竹細工、銅、蠶糸類、繭、用材、木炭を主要産物として七島蘭、密柑、青蓮、竹細工、椎茸、竹材、煮乾イロシ、産牛は特産物にして青蓮、椎茸は量質共に全國に冠たり。

昭和十六年生産物總價格を示せば次の如し

總生産額	三七三、八七七、一六一圓	100、00		
農業	九四、九四四、一九九	二五、四一	林業	三三、六四九、九二三
工業	一一七、一九四、〇八九	三三、三五	水産	一一、一八九、九三三
鑛業	102、二二六、七四六	二九、二〇	畜産	六、五九一、五三三
鹽業	一一、〇五〇、七三二	二、九四		一、七八



◎土地

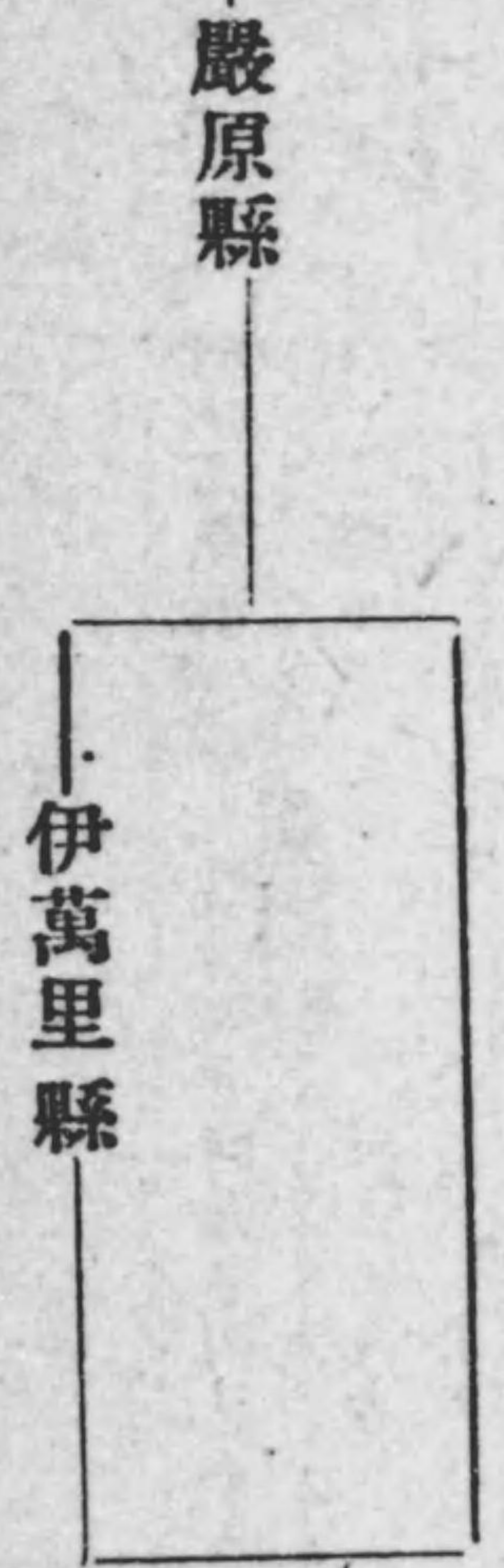
第一縣管轄ノ沿革

岡藩	藩主 中川久成	岡縣	明治四年七月十四日廢藩置縣舊藩大參事以下假に事務ヲ管理ス大事朝裁ヲ執ル
白杵藩	藩主 稻葉久通	白杵縣	同上
杵築藩	藩主 松平親實	杵築縣	同上
日出藩	藩主 參萬平	日出縣	同上
府內藩	藩主 木下俊	府內縣	同上
佐伯藩	藩主 大貳萬五千石	佐伯縣	同上
森藩	藩主 貳萬二千石	森縣	同上
熊本藩	藩主 貳萬石	熊本縣	同上
大分縣	藩主 貳萬石	大分縣	同四年十一月十四日豐後全國ヲ管シ廳ヲ大分郡府内ニ置ク

大區會設置 同五年六月二日管内ヲ劃シテ八大區トシテ大區ニ大會所ヲ置ク  
 用務所設置 同六年三月二十五日大區會所ヲ廢シ各小區ニ用務所ヲ置ク  
 町村合併 同八年三月十三日從來ノ區制ヲ分合改稱シテ八町村七百九十二トス

島原藩 藩主 松平忠和  
 草高 七萬石ノ内  
 島原縣 同四年七月四日廢藩置縣舊藩大參事以下假ニ事務ヲ管理ス大事朝裁ヲ執ル  
 同四年十一月十四日大分小倉兩縣ニ分屬ス

中津藩 藩主 松平昌服  
 草高 七萬石ノ内  
 中津縣 同上



元年閏四月二十五日同年  
 八月日不詳同年十一月二  
 十五日幕領並小笠原左門  
 地ヲ改メ縣トナス  
 二年九月十八日宇佐神宮  
 朱印地ヲ管ス  
 三年印地不詳松原實一耶  
 木下内匠助大給烈吉

同三年四月二十二日  
 日田縣(管轄ノ内)チ











第四河川

名稱 水源 地名 流末地名 管內經過里程

三限珠	直入郡久住山	日田郡夜明村	九〇三
大支玉	宮崎縣西白杵郡五ヶ所村、熊本縣阿蘇郡	大分郡鶴崎町	一五〇六
支葉來	熊本縣阿蘇郡尾山村	直入郡玉來町	三〇二五
支井	直入郡白丹稻葉山	直入郡竹野町	六〇五
支平	直入郡西大野村	大野郡大野町	九〇二
支緒	直入郡龜嶽村	大野郡竹野町	六〇三
支中	大野郡長谷川村	大野郡竹野町	八〇三
支三	同	同	一〇〇〇
支野	同	同	六〇〇
支荳	同	同	五〇〇
支北	同	同	六〇〇
支分	同	同	六〇〇
支蘇野	同	同	五〇〇
支阿	同	同	七〇〇
支賀	同	同	八〇〇
支七	同	同	八〇二

第五官有地

年末現在

昭和十五年

總數 公用財產 營林財產 雜種財產

一五七、〇八八、三三三  
 一〇、三四四、三九九  
 一〇、一六八、三三三  
 一三三、一八四、五三三  
 一三八、一八四、五三三  
 一、〇〇九、五八六  
 一、八三七、二二六

山國	下毛郡槻木村大字道山藥師ノ峠	中津郡下郷村	三〇三
支山	玖珠郡森町大字日出黒嶽	下毛郡長洲町	五〇三
支深	速見郡由布院村大字布嶽	同	一〇二
支惠	字佐郡明治村大字寒水清水ヶ本	同	六〇八
支匠	玖珠郡森町大字日出生福間山	同	七〇〇
支久	同	同	九〇三
支留	同	同	七〇〇
支須	同	同	五〇七
支田	同	同	六〇三
桂	同	同	七〇八
白杵	同	同	六〇〇
八坂	同	同	七〇〇
安岐	同	同	五〇〇
犬丸	同	同	七〇〇
寄江	同	同	五〇〇
青江	同	同	五〇〇



昭和十四年

一五六、六六二、五九五

一九、九八一、二四一

一三六、一三六、〇六四

五四、五三九

第六民有有租地

年末現在

一四

昭和十六年

昭和十五年

昭和十四年

總數

種別

地野林沼地田地數

段別	貨貸價額
二三四、五五五、二	一九、六一五、四四〇
五七、五九〇	一一、七六六、四三〇
三八、一八三、三	二、二六七、二九二
七、二七〇、二	四、七七四、六六九
八四二	二〇、八三九
一六五二	五、九九九
一、七四一、七步	二、三三、七九一
六五〇、六三三	四九六、七七九
六四、一九二四	一八二、五三三
二、〇七七〇	五八、一三八

段別	貨貸價額
二、三三二、八八六	一九、六五四、一八八
五七、七〇一、六	一一、六一七、一五六
三八三、〇〇一	二、二七二、八五三
七、七六八	四、七六四、三七四
九九七	二、三九三、七
一六	二、三〇、二八
一、六四四	五、九六四
六八七、九六八	四九七、一八三
六四三、六〇六	一八三、五〇六
五、八七〇	五八、九九七

段別	貨貸價額
二、二七五、〇五五	一九、七四四、三〇七
五七、八、四六二	一一、六五九、〇三三
三八三、六一七	二、二七六、九二〇
七、二八九六	四、八〇八、〇四九
一、〇三八	二、三九二、四
一八	二、三三、〇五五
一、五四三	五、九二七
六八八、七〇五	四九五、九五三
六四三、七九〇	一八二、七八七
五、九八六	五八、六七〇

第七民有免租地

十二月末日現在

昭和十六年

昭和十五年

昭和十四年

四四、四三八

四五、三七五

四三、八三六

學 校 敷 地  
 鄉 村 社 敷 地  
 墳 墓 敷 地  
 沼 池 敷 地  
 堤 塘 敷 地  
 井 濠 敷 地  
 保 安 敷 地  
 鐵 道 敷 地  
 礦 山 敷 地  
 道 路 敷 地  
 其 他 敷 地

第八民有年期地

十二月末日現在

昭和十六年

昭和十五年

昭和十四年

六八、五二四

七二、四一六

六五、五五九

總 數  
 免 租 年 期 地 數  
 埋 立 地 敷 數  
 荒 地 敷 數  
 耕 地 敷 數  
 造 地 敷 數  
 震 災 被 害 地 敷 數

九、八〇三  
 一、七一一  
 三、七一〇  
 四、三七八

一、九、三四三  
 二、二六四  
 六九八  
 一、一、一〇三

一、八、三四三  
 三、四一四  
 一、二六四  
 一、〇一一

一五







◎氣象

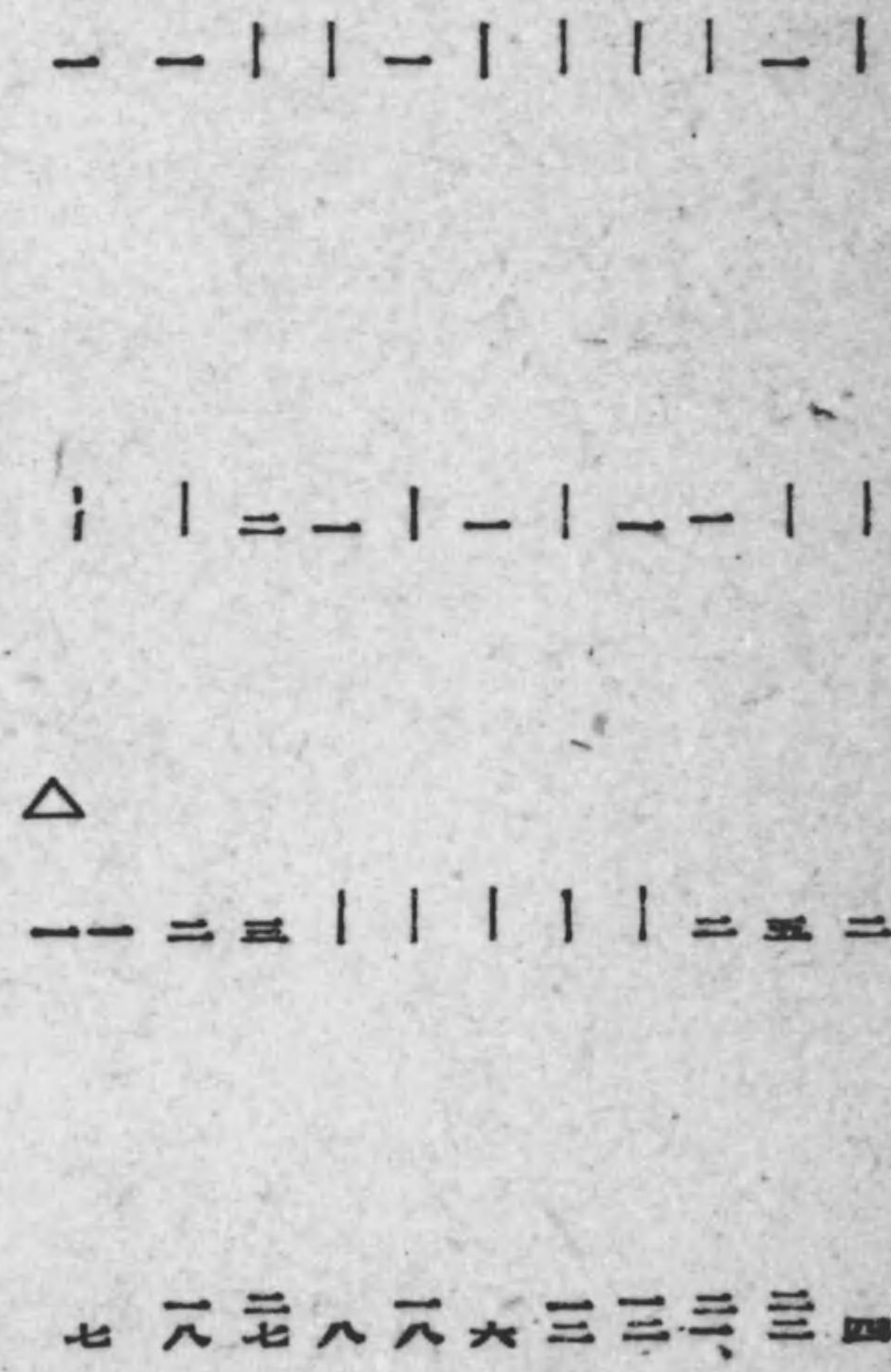
第一 測候所及觀測所

名	稱	所在地	創 立 年 月	海 拔	創 立 年 月
大分	測候所	大分市長濱町	明治廿一年一月	六、〇米(晴雨計) 六、六米(露場)	東經百卅一度卅七分 北緯卅三度十四分
日田	觀測所	日田郡森町大分縣立日田農工學校		三九〇米	明治二十六年一月
森田	觀測所	森田郡飯田中央氣象臺飯田臨時出		八四九米	明治二十六年一月
出所	觀測所	出所郡竹田大分縣立竹田中學校		二四〇米	明治二十六年一月
竹田	觀測所	竹田郡重町大分縣立重町中學校		一三五〇米	明治二十六年一月
三重	觀測所	三重郡出町大分縣立出町中學校		一三五〇米	明治二十六年一月
日東	觀測所	日東郡東町大分縣立東町中學校		一三五〇米	明治二十六年一月
國東	觀測所	國東郡高田大分縣立高田中學校		一三五〇米	明治二十六年一月
高田	觀測所	高田郡高田大分縣立高田中學校		一三五〇米	明治二十六年一月
四日	觀測所	四日市郡高田大分縣立高田中學校		一三五〇米	明治二十六年一月
白杵	觀測所	白杵郡大分縣立白杵中學校		二〇五〇米	明治二十六年一月
佐伯	觀測所	佐伯郡大分縣立佐伯中學校		六〇〇米	明治二十六年一月

一九

佐賀關警 白杵警 佐伯警 犬飼警 三重警 久住警 竹田警 森田警 日田警 中津警 長洲警 寮署 寮署 寮署 寮署 寮署 寮署 寮署 寮署 寮署 寮署 寮署

佐賀關町 白杵町 佐伯市 犬飼町 三重町 久住町 竹田町 森田町 日田市 中津市 長洲町



一八







第一四 國勢調査結果世帯人口 (郡市別) 昭和十五年十月一日

總別中西東速北大南北大直玖日下字

分府津國海海

數市市市東東見部分部野入珠田毛佐

世帯總數	男	女
一九三、七五九	四七三、五二一	四九九、四五四
一四、五四三	三九、四七三	三九、五一二
一四、五〇八	二九、六八一	三五、〇四三
六、一九八	一三、六〇一	一五、八一三
八、七二〇	一九、三八三	二〇、八九四
二、三九二	二八、三六九	三〇、五七三
一、三三二	二七、四八六	二八、九三〇
一五、〇六〇	四〇、九六一	四三、二〇八
二、四七三	五、五三五	五四、二五一
一七、二四七	三九、七九七	四三、二八七
一七、三五八	四四、三七二	四四、七八三
九、二八七	二二、九二〇	二二、三三六
六、九一四	一八、五七五	一八、六二六
一四、一四八	三九、〇八二	三九、〇九〇
九、五六四	二二、五六七	二四、一四〇
一五、一二七	三六、七一九	三九、〇八九

第一五 國勢調査結果世帯人口

(市町村別) 昭和十五年十月一日現在

郡市町村名

總別中西東速北大南北大直玖日下字

世帯	人口
一九三、七五九	九七三、九七五
一四、五四三	七六、九八五
一四、五〇八	六四、七二四
六、一九八	二九、四一四
八、七二〇	四〇、二七七
二、三九二	一〇、六〇四
一、三三二	二、〇四六
一五、〇六〇	四〇、九六一
二、四七三	三、〇四六
一七、二四七	三、四六四
一七、三五八	二、二一五
九、二八七	二、〇二九
六、九一四	一、四四七
一四、一四八	一、七五六
九、五六四	一、五五九
一五、一二七	一、七二六
	一、五五一
	一、三六一
	二、一八六

郡市町村名

三浦、香地、三重、東郡、竹田、上伊美、伊美、熊島、來浦、富來、上國崎、豐國崎、旭日、武藏、中武藏、西武藏

世帯	人口
四〇四	一、八五四
七二五	二、九七一
三二七	一、四一四
一三、二九二	五八、九四一
六三九	二、七五七
三〇八	一、三四六
五九二	二、六一三
七二〇	三、一九九
六九一	三、二〇七
五三八	二、五三三
九九八	四、五三三
三八六	一、八二八
四三三	二、一三六
一、七二〇	八、四四七
四二六	二、〇五〇
七七八	三、五九〇
三七七	二、七〇三
四三三	二、一〇四











郡市町村名	世帯	人口	郡市町村名	世帯	人口
深耶馬溪村	一四三	七三二	豐川村	五〇〇	二、三六二
山移村	二五四	一、五〇八	四日市町	九〇九	四、六〇〇
下郷村	五三三	二、七五一	西馬城村	六二五	三、〇四五
三郷村	七三七	三、八四二	長峰村	三〇八	一、五五二
溝部村	四九五	二、三九〇	橫山村	五〇五	二、四四六
槻木村	三四五	一、六〇七	麻生村	四七二	二、二二六
宇佐郡	一五、二七	七五、八〇八	天津浦村	三二〇	一、四八七
龍王村	四四〇	二、一七一	柳ヶ浦村	六三七	三、一八八
明治村	四〇七	二、一三三	八幡村	八二四	四、一七五
南院村	五四一	二、七七六	高家村	五三七	二、五六四
東院村	三〇二	一、五〇五	糸口村	五〇四	二、五五一
高並村	四〇九	二、〇〇九	長洲村	四三四	二、一三四
佐田村	二〇七	一、一四一	宇佐町	一、八五三	九、一五七
津房村	四三九	二、二四六	北馬城村	七七四	三、八〇八
安心院村	五一九	二、六八〇	封馬城村	六四八	三、五五二
阿川村	六七一	三、三三四	和封間村	三四〇	一、六九七
	三七六	一、七四七		六六六	三、五二九

第一六八 人口出入

年末現在

(次ノ九項中ノ執レカニ當ル者ハ縦令出寄留者ト雖本項ニハ之ヲ除ク)

出	總數	本市町	在陸海	在監	在朝鮮	在臺灣	在樺太	在關東	在南洋	在外	不詳
昭和七年	三三七、三二〇	二八五、〇六六	六、五五九	五八七	一九、八六七	二、八四四	四七八	五、八一四	四二六	八、四〇四	二、八三六
昭和九年	三〇三、四七〇	二五八、三三八	五、七三二	五四三	一八、三七二	六、八三八	?	五、五六二	四四四	六、三三一	三、三三一
昭和八年	二九三、九九	二四九、六八七	五、三二四	五一	一七、四三六	六、六七七	?	五、三一七	四五九	四、九九四	三、三九四

入	總數	内地ヨリ	殖民地及外國ヨリ	其他	本籍人千人	現住人千人
昭和七年	一七〇、四四一	一六五、〇一〇	五、四一八	一三	一四三	一六六
昭和九年	一五八、五三七	一五四、一〇九	四、三九五	三三	一三六	一五五
昭和八年	一四九、八二五	一四六、二三〇	三、五七九	一六	一三〇	一四八



第一七 現在人口動態總覽

(實數)

年次	婚姻		離婚		出生		死亡	
	總數	男	女	總數	男	女	總數	男
昭和十五年	八,二八四	六九七	二七,四四九	一三,九八三	一三,四六六	一,〇七八	五八八	四八一
昭和十四年	一〇,三三三	七三〇	三三,三六五	一六,九四五	一六,三三〇	一,一九六	六二八	五六二
昭和十三年	八,七三六	七七一	二九,九九九	一五,二六〇	一四,七三九	一,二七一	六六六	五九九
昭和不詳								
總數	三〇,〇〇〇	二,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	三,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

第一八 職業別戶數

昭和三十三年末現在

職業	總數		本業		副業	
	戶數	總數千二付	戶數	總數千二付	戶數	總數千二付
農業	二四六,七五七	一,〇〇〇	一九〇,四三七	五八,三三七	五六,三三〇	一六,〇〇七
水産	一二四,九五五	五〇六	一〇五,〇三〇	四三,〇〇〇	一九,九二五	八,〇八五
工業	一五,七四二	六四	七,六六一	一,〇八一	八,〇八一	三〇
商通	二,〇九二	八	一,七九〇	一,七九〇	三〇	三〇
交通	三三,四七〇	九五	一五,二七九	一,一八一	一八,一九一	八,〇〇〇
公務	三六,一五一	一四六	二七,八五一	一,一八一	八,三〇〇	四,〇〇〇
家事	一〇,二〇九	四二	六,一六四	一,一六四	四,〇四五	一,〇〇〇
其他	一四,八三五	六〇	一三,五二六	一,一六四	一,三六二	五九一
無職	一三,五七一	七	一,〇二八	一,〇二八	二,五四一	一,五二一
總數	四,一三三	一七	三,九一五	一,一三三	四,〇〇六	一,八七三

第一九 職業別人口

昭和三十三年末現在

職業	總數		本業		副業	
	人口	總數千二付	人口	總數千二付	人口	總數千二付
農業	六〇三,二三四	一,〇〇〇	五〇八,三五七	一六二,二二四	九四,八七七	一六七,四三三
水産	三六〇,八五七	五九八	三二一,二二四	一五,六七四	三九,六四三	一四,〇四三
工業	二九,七二七	四九	一五,六七四	二,九六五	一四,〇四三	三八八
商通	三,三三三	六	二,九六五	二,九六五	三三	三三
交通	四九,七一四	八二	三七,二五九	一,一八一	一三,四五五	一三,四五五
公務	九一,〇九五	一五一	七七,四五三	一,一八一	一三,四五五	一三,四五五
家事	一四,八八四	二五	一〇,一三五	一,一八一	九,〇〇〇	一,一三五
其他	二一,一五五	三五	一八,四〇七	一,一八一	一,六三〇	七三三
無職	二五,〇八五	四	一,六三〇	一,六三〇	八,五九八	六,四八六
總數	五,〇三三	八	四,〇三三	一,一三三	五,〇三三	一,八七三



◎交通

第二〇 日豊、久大、豊肥、線鐵道

×ハ小荷物

年未現在	貨物		貨金	
	發送	到着	總數	乘客
昭和十二年	五五、二五八	四八四、六八八	五、四六一、七四七	三、六四二、三三一
昭和十年	四四、四一五	四四四、五二一	五、一三三、一七四	三、四六一、九七一
昭和九年	五〇一、八九四	四〇一、九九九	四、七二八、四六〇	三、一七五、七二九
	×四、三三四			
	×三、九〇三			

第二一 別府大分電氣鐵道

年未現在	貨物		貨金	
	發送	到着	總數	旅客
昭和十二年	四、〇九八、一五六	三、六八八、一九四	三、〇一、三七四	三、〇一、三七四
昭和十年	一八〇、三	一八〇、三	一八〇、三	一八〇、三
昭和九年	一八〇、三	一八〇、三	一八〇、三	一八〇、三

第二二 輕便鐵道

昭和十一年

敷設區間	新敷	貨物		乘客		手荷物
		總額	乘客	總額	乘客	
耶馬溪鐵道 自下毛郡中津	三六・一	六四、六〇七	二〇三、二七六	一、六、二五二	六四、八二三	二、二二一
豐州鐵道 自宇佐郡豐前善光寺	一五・五	一一、七一九	三八、〇〇六	二二、三九七	一三、五六四	二、〇四五
國東鐵道 自杵築	三〇・三	三六、三五二	一四四、三六八	九八、三三三	三九、六八九	六、四五七
字佐參鐵道 自高田	八・八	二七、二二三	七六、〇八一	五一、〇九九	一八、八五一	六、一三二

第二三 郵便局

年未現在

年未現在	普通		特定局		特定普通		特定無集配		郵便切手		郵便函數	
	總數	普通	特定局	通集配	無集配	取扱所	電信所	賣捌所	郵便切手	郵便函數		
昭和十六年	二四二	六	一	二二	一一五	一	一	一、三三三	一、四九二			
昭和十五年	二四〇	六	一	二二	一一一	一	一	一、三六一	一、四九五			
昭和十四年	二三四	二	三	二〇	一〇〇	九	一	一、三九一	一、五〇〇			



第二四郵便物

三四

昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	總數		書留及集金價格表記	
			普通	受配	普通	達
小通	小通	小通	六四、四四一、一八〇	六二、九六八、〇〇九	一、一七三、一七一	七四、八九一、二七九
常包	常包	常包	一、二二八、七九二	六七二、四四一	五四六、三五二	一、二二三、五二二
小包	小包	小包	五五、四〇二、八九七	五四、三二四、四九八	一、〇七八、三九九	六四、四〇三、五八八
常包	常包	常包	一、一〇三、一七八	六三一、七五〇	四七一、四二八	一、一八三、六八一
小包	小包	小包	五三、九二四、八九九	五三、八八三、三八六	一、〇四一、五二二	六四、一五七、一八一
常包	常包	常包	九八三、四五〇	五三三、九六三	四四九、四八七	一、一三五、七六七
總數	總數	總數	六四、四四一、一八〇	六二、九六八、〇〇九	一、一七三、一七一	七四、八九一、二七九
書留及集金	書留及集金	書留及集金	價格表記	價格表記	價格表記	價格表記

第二五電報

昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	國內		國外	
			發信	着信	發信	着信
有料	有料	有料	一、二九一、二七六	一、八〇、三三三	一、二二四、四三三	二二七、六四八
無料	無料	無料	?	?	?	?
有料	有料	有料	一、二二五、二七三	一、三六、六三〇	一、一八三、〇八二	二四三、六〇五
無料	無料	無料	?	?	?	?
有料	有料	有料	八六	一六六	七一	三三
無料	無料	無料	?	?	?	?
有料	有料	有料	七五	九〇	九〇	三五三、三三五
無料	無料	無料	?	?	?	?
有料	有料	有料	九〇	三〇	三〇	四三九、〇四三
無料	無料	無料	?	?	?	?
有料	有料	有料	九〇	三〇	三〇	四三九、〇四三
無料	無料	無料	?	?	?	?
有料	有料	有料	九〇	三〇	三〇	四三九、〇四三
無料	無料	無料	?	?	?	?

土功

第二六道路延長

(昭和十七年三月末現在)

總數	國道	縣道	市町村道
八、九四、一六四米	一八七、四八八米	二、五四二、八四五米	六、二三三、八七二米

第二七橋梁及溜池

(年末現在)

昭和十六年 (三月末日現在)	昭和十五年	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年 (三月末日現在)	橋		溜池				
					總數	國道	縣道	市町村道	私費	溜池	
坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	四、六一五	一四六	一、六七九	二、七九〇			四、九五九、九〇一
坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	四、六二六	一四七	一、六七九	二、七四八			六、二四八
坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	四、五七三	一四六	一、六七九	二、七四八			六、一三九
坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	坪箇數	四、六二三	一四六	一、六七九	二、七四八			六、二四八





第二八 水害損失價額

昭和十四年

三、〇九九、六〇七圓

昭和十三年

一、四九七、四七九圓

昭和十二年

一、四六七、七三四圓

總額  
家畜  
建築物  
船舶  
田地  
田畑以外ノ土地  
河川  
道路  
橋梁  
溜池及用水  
港灣及海  
其他

六、七三八  
二、四、五七〇  
一、五〇〇  
二、七〇、七四八  
一、六五九、五〇一  
六、六六、六五八  
二、三三、七〇九  
一、六、三五三  
七、八一〇  
七、三七〇

四、八三〇  
五、一九〇  
七、三七〇  
九二、一九六  
六五五、五七八  
五、五、五一一  
一、五、七五九  
二、〇九五  
二、九七五  
三、九、九七五

四、〇三八  
一、三、七一一  
二、六、一〇〇  
一、七五、三三五  
三、六一、六五九  
四、三、八二四  
二、六〇、四一七  
一、八、三〇一  
一、六、八六二  
一、五八、五七七

第二九 風潮被害價額

(昭和十四年)

總額  
道路  
橋梁  
河川  
溜池及用水  
港灣及海  
其他

三、六、一六圓  
七、〇三五  
八、一一一  
一、三、六二〇

池沼  
田畑  
船舶  
流失  
沈没  
其他

四、五〇〇圓  
一、四、三〇〇  
三、〇、八五〇  
二、四、〇〇〇

◎ 産 業

○ 生産物價額累年比較

昭和十七年  
昭和十八年  
昭和十九年  
昭和二十年  
昭和二十一年  
昭和二十二年  
昭和二十三年  
昭和二十四年  
昭和二十五年  
昭和二十六年

(續き)

水産

一、二、一八九、九三二  
一、五、七二七、五三一  
一、三、三三〇、五八九

畜産

六、五九一、五三一  
八、五四七、七二七  
六、九八三、四〇四

礦業

一〇九、二二六、七四六  
一〇六、九二二、四七三  
六一、三一五、一五〇

畜系

一一、〇〇〇、七六三  
三三、九八四、三九一  
三三、一〇五、〇三二

總額

三、七三、八七七、一六一  
三、五二、五四二、三六五  
三、〇一、六三一、九六七  
二、二八、九六〇、〇四九  
二、〇六、九七二、三五七  
一、七九、八四一、五〇九  
一、五六、〇三五、一二五  
一、四〇、九〇二、三六〇  
一、四四、九二四、五五二  
一、二六、二六五、一五〇

農業

九四、九九四、一九九  
八八、〇三〇、五一六  
九六、〇五二、三三八  
七〇、九七三、六八五  
六五、二二六、三三〇  
五八、七二八、五八六  
五一、〇〇五、三一八  
四七、三七一、九六八  
四七、二七五、四九八  
三九、一一四、一九三

工業

一一七、一九四、〇八九  
七八、六四九、二五四  
七一、五六一、五一  
六四、三五八、四四四  
五七、〇八八、九六一  
五〇、四四五、〇一五  
四六、一七四、八〇五  
四四、七三二、八六四  
四五、四五四、三八一  
四一、三八八、五六〇

林産

三、六、四九九、一二一  
二、六、九〇、五九三  
三、〇、二六三、九五四  
二、二、八八七、一〇二  
一、〇、二二二、四八九  
八、二、二二、三一四  
六、七、四〇、三八四  
六、一、九三、九六六  
五、九、六三、〇四〇  
五、二、六〇、一九五



昭和十三年	九、五二〇、七七一	五、八二〇、五〇〇	四九、〇九六、三九〇	一六、三二〇、一一七
昭和十二年	七、六六一、四七八	四、七五三、九三八	四四、六九七、九七一	一七、三三二、一九〇
昭和十一年	七、四五三、八五〇	四、三二八、五三九	三四、四六七、二二八	一六、三〇六、〇七九
昭和十年	六、六四一、八四〇	三、〇三五、四五九	二六、九九一、三二二	一五、四四六、〇〇七
昭和九年	五、五四八、五六二	二、八五四、五八一	二三、〇五一、二一九	一一、一四九、二〇〇
昭和八年	五、三九八、一五八	二、五九八、五八二	一九、〇二四、五五七	一九、三二〇、三三六
昭和七年	五、二五、一九五	二、五二七、八〇八	一九、〇四四、四三九	一三、八〇四、七六〇

◎農業

第三〇 耕地面積

昭和十六年	總數	自作地	小作地	總數	自作地	小作地	總數	自作地	小作地
	八九八、六九二	五三三、六七五	三六六、〇一七	五八九、四四〇	二九九、八八八	二八九、五五三	三〇九、二五三	二三三、七八七	八六、四六五

第三一 農家準農家數

昭和十六年	總數	專業農家	兼業農家	總數	生產物ヲ販賣セザル準農家	生產物ヲ販賣スル準農家
	一四、三〇七	四、八二六	四六、八二四	三三、六六七	九〇二	九〇二

第三二 農家準農家 自作別

昭和十六年	總數	貸付耕地一町歩以上ヲ所有スル農家	自作農家數	自作兼小作農家數	小作兼自作農家數	小作農家數	土地ヲ耕作セザル農家
	一四、三〇七	三、〇七七	三六、九三〇	二四、三八〇	二〇、九八七	二六、四六八	四六五







第三六 綠肥用及飼料用作物

昭和十六年

四二

飼料用作物	收穫面積		推定收穫高	
	總數	畑	總數	畑
ソラマメ	4,415.2町	4,406.6町	15,604.287貫	15,581.997貫
大豆	8,638.8町	29,500.5町	2,075,011貫	68,660貫
小麦	4,477町	4,477町	1,300,080貫	1,300,080貫
燕麥	5,838.6町	5,209.4町	1,269,391貫	1,249,111貫
玉蜀黍	4,477町	4,477町	1,100貫	1,100貫
芝	4,477町	4,477町	1,100貫	1,100貫
ルビ	6,339.9町	1,500.4町	1,763,570貫	8,450貫
一年性及一年性	1,500.4町	1,500.4町	63,540貫	63,540貫
永年性	6,339.9町	6,339.9町	1,763,570貫	1,763,570貫
牧草	1,500.4町	1,500.4町	63,540貫	63,540貫
總數	50,900町	50,900町	1,746,095貫	1,742,795貫

第三七 肥料消費高

昭和十六年

品名	總數		販賣肥料		自給肥料		石灰
	總數	畑	總數	畑	總數	畑	
ソラマメ	4,415.2町	4,406.6町	1,710貫	1,500貫	1,710貫	1,710貫	3,210貫
大豆	8,638.8町	29,500.5町	5,400貫	1,620貫	2,010貫	1,620貫	3,800貫
小麦	4,477町	4,477町	1,100貫	1,100貫	1,100貫	1,100貫	4,800貫
燕麥	5,838.6町	5,209.4町	1,100貫	1,100貫	1,100貫	1,100貫	4,800貫
玉蜀黍	4,477町	4,477町	1,100貫	1,100貫	1,100貫	1,100貫	4,800貫
芝	4,477町	4,477町	1,100貫	1,100貫	1,100貫	1,100貫	4,800貫
ルビ	6,339.9町	1,500.4町	3,330貫	3,990貫	3,330貫	3,990貫	3,290貫
一年性及一年性	1,500.4町	1,500.4町	63,740貫	63,740貫	63,740貫	63,740貫	63,740貫
永年性	6,339.9町	6,339.9町	74,180貫	74,180貫	74,180貫	74,180貫	74,180貫
牧草	1,500.4町	1,500.4町	74,180貫	74,180貫	74,180貫	74,180貫	74,180貫
總數	50,900町	50,900町	1,746,095貫	1,742,795貫	1,746,095貫	1,742,795貫	11,005,600貫

第三八 農産物

昭和十六年

品名	總數		販賣肥料		自給肥料		石灰
	總數	畑	總數	畑	總數	畑	
麥米	1,924,416.4貫	1,924,416.4貫	8,930,730貫	1,835,510,736貫	11,005,600貫	11,005,600貫	1,065,509貫
栽培現在面積	57,193.4町	57,193.4町	48,056.9町	48,056.9町	48,056.9町	48,056.9町	716,971貫
作付面積又ハ	57,193.4町	57,193.4町	48,056.9町	48,056.9町	48,056.9町	48,056.9町	716,971貫

四三







ワハ善ヲアタメソヘシキイ菜チハ食ヲ甘ヲメレ

目 ム ウ チ ユ  
チ モ シ ナ用 ケン  
ウクロ イバ チト チ ササ  
ー ヨ リユコ ノコ  
ギ コ ク ウ ツ

クカシキママゴタマ井 ビ種ブリリビ康ビコン

九三三、七五七  
九六、一七五  
三三、二七五  
一、三五一、四四三  
一、一七四、八八四  
一、一八〇、七五七  
二、三二一、三三三  
三、三二一、三三三  
九七五、七三九  
三七五、二七三  
六六、四一四

二五、七五七  
七六、七五七  
五一、七五七  
四九、二九七  
六三、〇一〇

七三、九三〇  
六九、八六〇  
七四、二九七  
五五、五五五  
一一、一五五  
八八、七四〇  
一〇、〇一五  
七、〇八〇  
九〇、六七一  
三、〇三〇  
二、〇三八、六〇三  
九、三一一  
五九〇、九〇〇  
四三、四六六  
三、〇一〇  
一、三三九  
一四、六六〇

第三九果 實

品名

カアウハクイビ櫻モ雜ナネ西日ブリミ  
ツア  
ミオ洋本ドンカ  
カレン  
カン  
キズメゼリクワ桃モ柑ンダ梨梨ウゴン

耕地ヲ集團的ニ  
栽培セラル、モ  
ノ、現在面積

一、五九二、七  
一、四一、六  
一、五三、六  
一、三三、九  
一、〇八、二  
四、四、九  
四、七、五  
五〇、七  
五八、一  
一、三、八  
一、八、〇  
九六、九

散在的ニ栽培  
セラル、モノ  
ノ、現在樹數

一一九、九六七  
三三、三  
九、九八四  
五五、三二一  
四、七〇一  
一一、六八一  
七五、〇一六  
七二、七一  
二五、四一七  
八八、九  
四〇、八七七  
一五、八五三  
五、八二八  
七五、五〇九  
九八、八三六  
三、二二一  
三六、二五六

實收高

六、五九六、八一  
六四〇  
一一七、五三九  
一一三、五九四  
一九、九一一  
一八三、九八二  
五八九、三〇九  
二七一、一六六  
一一、一九四八  
一、一五三  
一五一、〇三九  
四六、五六八  
五八、四一三  
四二六、二四八  
二九七、八四三  
六、二三四  
八八四、三七九



第四〇 販賣用農産加工品生産

昭和十六年

品名	生産戸數	生産數量
甘草切干	八九、七九九	九三二、九二八
切干	二〇〇	七五〇
干	九一〇	三、四三五
干	三〇三	五三
干	九三八	三、六七八
干	一、五六一	六、一九五
干	五八一	六一、六四〇
干	一四、五四四	一、六五〇
干	八、一六四	四、四〇四、六九五
干		九三二、二八四
干		二、四三〇、九二貫
干		四二二、八一五
干		一三、八三〇
干		三三八、二三五

蠶糸業

第四一 桑栽培者數及栽培現在面積

八月一日現在

耕地ニ栽培セラル、モノ

栽培者數

總數

本桑園

間作セラル、モノノ見積反別

散在的ニ栽培セラル、モノノ見積反別

昭和十六年

三七、九七七

七、五五七

七、二七六

一、七四八

一〇六、〇

第四二 桑苗

實

生

接

木

販賣ノ目的ヲ以テ生産チ行フ者

栽培現在面積

販賣ニ供シタル苗木

栽培現在面積

販賣ニ供シタル苗木

昭和十六年

一三五

一、八二三

二三四、四五〇

一八、一〇五

八六三、七四〇

第四三 蠶種製造

蠶種製造者

原蠶種

蠶種

普通蠶種

蠶種

昭和十六年

二

六三、一四〇

四九

八、三三八、九八〇



第四四 蠶

昭和十六年

五〇

養蠶戶數	實戶數	春蠶	夏秋蠶
三六、七三九	三六、七三九	三四、六四六	三四、二四三
掃立數量	總數	春蠶	夏秋蠶
二、〇〇、八五〇	二、〇〇、八五〇	九六〇、九三四	一、〇四九、九一六

蠶	總數	上繭	種繭	新用途繭	玉繭	屑繭	繭毛羽
		一、二九三、八二六	一六、四七六	一、八〇三	六四、一五八	七七、六九〇	九、三二〇
春蠶	七三〇、九四四	六四九、九七〇	一〇、四三一	一、八〇三	三二、六五五	三七、八八八	五、〇九八
夏秋蠶	五六二、八八二	四八三、七二九	六、〇四五	一、八〇三	三一、五〇三	三九、八〇二	四、二二二

第四五 生糸製造高

昭和十六年

總數	器械生糸	座繰糸	玉糸
七四〇、四八四	七三〇、五九七	八、六三六	一、二五一

第四六 販賣用真綿生產

昭和十六年

販賣ヲ目的トシテ真綿ヲ生産セシモノノ數	販賣ヲ目的トシテ生産シタル數量
三三	一九一

◎畜 産

第四七 家畜飼養者數及飼養頭數

昭和十六年二月一日現在

飼養農業者數	總數	農家	準農家	總數	飼養頭數	仔畜	成畜
	五四、七八九	五四、七三九	五〇				
備考	山羊	二、六八八	二、六八八	一、九六二	一〇、六二二	一、三三三	五四、三三三
	綿羊	二、八三三	二、八三三	五、二七五	一、三三三	一、三三三	一、三三三

第四八 家畜生産斃死頭數

昭和十六年

生産頭數	總數	牝	牡	斃死頭數	仔畜	成畜
	三三、八五三	二二、七四六	一一、一〇七			
備考	豚	八、三三二	三、八九五	一、五四八	七三二	六六六
	牛	二、七四六	一、一〇七	一、一七七	三三二	二四二



山羊	二八三	一四九	一三三	一五五	二九	三八	七〇
綿羊	一九七	一三三	六五	六一	三二	三三	一六
							二七

第四九 家兔飼養者數及飼養頭數 昭和十六年

飼養者數	總數	九頭以下	一〇頭以上四九頭以下	五〇頭以上
	二、八九七	二、四九三	三八八	一七
總數	牝	牝	牝	仔
	四一、六三三	一八、二八二	一、三〇四	一〇、三三〇
飼養者數	總數	毛皮用	毛用	毛皮用
	四一、六三三	一八、二八二	一、三〇四	一〇、三三〇
飼養者數	總數	毛皮用	毛用	毛皮用
	四一、六三三	一八、二八二	一、三〇四	一〇、三三〇

第五〇 養雞農業者數及飼養羽數 八月一日現在

昭和十六年	總數	農家	準農家	總數	雌	雄
	四三、六五五	四三、三四三	三二二	四五〇、三九	三六六、〇二六	八四、三三三

第五一 鷄卵及初生雛販賣數量

昭和十六年	鷄卵販賣數量	鑑別雌	初生雛販賣數量	無鑑別
	三三三、二七三	一六〇、九一九	八三、四三六	二六、六九六

◎山林

第五二 國有林

所管	總保部	安用分	林數	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年
	二〇四	二二	二〇四	二五二	二五二	三二五
別	總保部	安用分	林數	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年
	四、四七六	一、〇三七	四、四七六	四、四八二	四、四八二	四、四七四
原野	總保部	安用分	林數	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年
	四、四三〇	九〇〇	四、四三〇	四、四三六	四、四三六	四、四三一
段	總保部	安用分	林數	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年
	五、七	二	五、七	五、七	五、七	五、七







第五七 造林用苗木

昭和十六年

五六

苗圃  
 總市部  
 町  
 村落數  
 總市部  
 町  
 村落數  
 森林組合  
 其他團體  
 苗木  
 個人及  
 其他  
 社會

(九月一月現在)

(山行ニ供シタルモノ)

苗圃管理者數

苗圃坪數

苗木  
 總播種  
 天然生  
 自昭和十五年九月三十一日  
 至昭和十六年八月三十一日

總數  
 五、八五七、五三八  
 二、一五五、八〇八  
 三、六九三、七八〇  
 七、九五〇

一年生  
 三、二六〇、七八五  
 六八六、一五〇  
 二、五七四、三八五  
 二五〇

二年生  
 一、七三七、一七二  
 七七七、〇九三  
 九五三、五七九  
 六、五〇〇

三年生  
 八五九、五一  
 六九二、五五五  
 一六五、八一六  
 一、二〇〇

第五八 公私有林造林面積

昭和十六年

總市部  
 町府  
 村落數  
 社會團體  
 其他  
 個人

第五九 林野產物

昭和十六年

伐採  
 木  
 薪  
 製炭  
 針葉樹  
 闊葉樹  
 葉木  
 樹樹

總數  
 二、五七〇、一八石  
 九七、二八二  
 二七、九六三  
 五五、一八五  
 七、〇九八  
 一八五、三〇四

竹  
 木  
 造林用種子  
 炭物  
 樹  
 ハツク  
 バ  
 セキリ

五七

天然造林  
 三、五〇、五八七  
 一四、八六八、六〇九  
 四、六四四  
 二二七  
 四六、二二八

總數  
 五、六〇二  
 一九九  
 四六〇  
 三三八  
 二四  
 一六  
 四、五七四

針葉樹  
 四、六七八  
 一九九  
 三〇四  
 二七四  
 二〇  
 一四  
 三、八六七

闊葉樹  
 九二四  
 一五七  
 五四  
 四  
 二  
 七〇七

天然造林  
 一、六五八  
 六五九  
 六七  
 一、五二七



樹皮  
スギ  
ヒノキ  
ヤマモモ  
シユロ  
竹皮  
シイダケ  
マツダケ  
ダケノコ  
ゼンマイ

六三八、五九五  
一九、九九八  
三〇東  
一四、二七頁  
四四、六五二  
一七、四九〇  
一、三三三  
一三三、四〇〇  
六〇二

フ  
蔓及莖  
マツヤニ  
ホタール  
樟腦油  
樟腦油  
備考  
國有林用材 三三、七四二石、薪材 一、二五七棚ノ伐採アリ

四九一  
二、〇一五東  
一八四頁  
三〇石  
七一、六七一頁  
九六、九〇四

五八

◎漁業

第六〇 漁

船

昭和十六年

新船 (八月一日現在) 數  
(前年八月一日) 數  
以降

總數	八、八五八	八七	七九	八	二六九
大型漁船	動力ヲ有スル船	二、二二三	二、二二三	四三	六、七〇三
小型漁船	動力ヲ有セザル船	五噸以上ノ漁船	五噸未満ノ漁船		

第六一 水産業經營者數及水産業被備勞働者數 昭和十六年

總數	二、一九八六	六、三三二	八、五三四	七、二六六
水産業ヲ經營スル世帯	一〇、九八〇	三、二五三	四、二六七	三、五六一
水産業ニ雇傭セラル、世帯	三、二一〇	二、二一〇	一、〇四三	五二八
水産業經營シ且ツ水産業ニ雇傭セラル世帯	六、七三九	一、〇四三	五六一	五九
水産業經營セラル世帯	二、一三二			

兼第一種業 兼第二種業











◎鑛業

第六七 鑛山鑛區

七月一日

昭 和 十 五 年	昭 和 十 六 年	昭 和 十 七 年	採掘			休業			
			鑛區坪數	鑛區坪數	鑛區坪數	鑛區坪數	鑛區坪數	鑛區坪數	
109	28,049,637	113	31,360,414	69	18,468,968	53	12,891,446	809	437,305,488
110	30,582,415	112	30,582,415	58	16,673,899	53	13,908,516	733	414,606,590
				66	17,639,579	43	10,410,058	560	311,335,213

第六八 鑛產

昭 和 十 四 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 六 年	總額		鑛產		石材土石及鑛水		湯花	
			坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數
61,315,150	95,436,739	109,226,745	50,088,248	97,062,999	11,153,746	21,205,326	21,205,326	21,205,326	21,205,326	
	106,923,473	109,226,745		95,436,739	11,153,746	21,205,326	21,205,326	21,205,326	21,205,326	

備考 表中鑛產ハ福岡鑛山監督局ノ調査ニヨル

◎商業

第六九 主要港灣移出入貨物價額

港名	昭和十六年		昭和十五年	
	移出	移入	移出	移入
中津港	3,070,400	3,347,300	2,110,120	11,534,100
守江港	1,579,100	63,500	947,600	473,370
別府港	2,893,180	1,049,195	3,279,466	1,861,157
大分港	37,443,159	25,248,210	41,137,011	17,827,803
鶴崎港	3,229,500	45,091,800	24,911,680	14,950,820
佐賀關港	85,110	1,031,646	285,263	1,133,317
白杵港	33,942,710	13,726,406	39,122,387	19,207,460
津久見港	16,942,887	5,606,217	17,607,688	5,558,330
佐伯港	6,684,670	963,736	5,995,041	4,506,253



第七〇會社

六六

昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	株式會社		合資會社		合名會社		有限會社	
			總數	株式會社	合資會社	合名會社	有限會社			
會社數	會社數	會社數	六二六	二五五	三三三	八九	四九	六〇三	二五〇	二五〇
總額	總額	總額	五九、八三九、六九六	四六、四〇二、二七〇	六、四四八、〇三〇	四、八三四、八〇六	二、一五四、六〇〇	五六、一一一、二〇七	四四、一六、二〇〇	三三、七三三、七四五
拂込濟額	拂込濟額	拂込濟額	三五、一三三、一〇七	三五、一一三、一〇七	四、七三三、五〇六	五、四七、八四七	三三二、六八四	四、八三一、四七三	四、一四五、四八七	三三、七三三、七四五
立金	立金	立金	五、五三三、六〇四	四、七三三、五〇六	五、四七、八四七	三三二、六八四	二、一五四、六〇〇	四、八三一、四七三	四、一四五、四八七	三三、七三三、七四五
資本金	資本金	資本金	五六、一一一、二二六	四四、一六、二〇〇	六、二二七、八五六	四、五二七、三五〇	一、二二九、七〇〇	五六、一一一、二二六	四四、一六、二〇〇	三三、七三三、七四五
總額	總額	總額	五六、九四九、一八六	四六、四二一、五七〇	六、一三四、〇三八	四、四〇三、五七六	二、一五四、六〇〇	五六、九四九、一八六	四六、四二一、五七〇	三三、七三三、七四五
拂込濟額	拂込濟額	拂込濟額	三二、五五三、四四五	三二、五五三、四〇〇	—	—	—	三二、五五三、四四五	三二、五五三、四〇〇	三三、七三三、七四五
立金	立金	立金	四、九三九、五八八	三、九〇六、二二三	二、九七、九一一	七三五、四五五	—	四、九三九、五八八	三、九〇六、二二三	三三、七三三、七四五

第七一銀行

昭和十六年末現在

會社名稱	所在地名	營業ノ目的	設立年月
共同野村銀行	西國東郡高田町	銀行業	明治 四五、一
日田共立銀行	日田市	同	明治 三三、二
實業貯蓄銀行	同	同	大正 九、五
豐前銀行	中津市	同	明治 二七、七
中津銀行	同	同	明治 三三、一
大分合同銀行	大分市	同	明治 二六、一
大分貯蓄銀行	同	同	明治 二八、四
豐和銀行	同	同	昭和 一五、三

六七



第七二銀

行 (出納)

六八

昭和十六年	上半期		下半期	
	入金高	出金高	入金高	出金高
昭和十六年	一、八三三、一五、三三九	一、八三三、〇五七、二八四	一、九六五、二五三、六四〇	一、九六三、〇〇三、八五八
昭和十五年	一、七六八、四二一、二六六	一、七六八、五〇一、二八五	一、九一一、〇八〇、〇五八	一、九〇九、四二九、三六九
昭和十四年	一、二八一、一四〇、〇五五	一、二八一、六一一、〇八八	一、五四〇、五〇一、五七三	一、五三八、九六六、八五三

第七三銀

行 (預金)

昭和十六年	上半期		下半期	
	當期預り高	期末現在預金高	當期預り高	期末現在預金高
昭和十六年	五八一、六九三、三八八	二五四、八一七、八三九	六二六、三三六、三三八	一七二、五三八、四六五
昭和十五年	五四五、八一三、九五五	一四五、三三八、六三五	五八八、二二一、七四一	一六三、一七六、〇八八
昭和十四年	三九四、七二八、二八四	一〇九、九八八、一一五	四五八、一三九、一五八	一二七、九三七、一六六

第七四銀

行 (貸付)

昭和十六年	上半期		下半期	
	總貸金	期末現在貸高	總貸金	期末現在貸高
昭和十六年	二五、一三八、二三五	五七、七七三、三二四	一六四、六八二、七三六	六〇、七四三、五二九
昭和十五年	一一〇、四〇三、六〇五	五九、八八九、八一五	一五八、一三三、六八八	六一、七三六、四〇三
昭和十四年	一四三、六九六、六七六	五七、二八三、〇六二	一六九、七六七、七九三	六二、五四八、六三九

第七五銀

行 (手形)

昭和十六年	上半期		下半期	
	手形	割引高	手形	割引高
昭和十六年	三〇、四九九、三六七	二八、四七六、三六〇	三七、六八九、五八〇	三三、九八八、五二三
昭和十五年	二八、四七六、三六〇	二八、二五六、一三九	三三、九八八、五二三	三〇、五一七、八四三
昭和十四年	二八、二五六、一三九	二八、二五六、一三九	三〇、五一七、八四三	三〇、五一七、八四三







◎産業諸團體

第七九 農

昭和十七年末現在

農	會	名	區	域	會
大分縣	分府	分府	市	市	市
別府	津	津	市	市	市
中津	日	日	市	市	市
佐伯	國	國	郡	郡	郡
西國	東	東	郡	郡	郡
東國	東	東	郡	郡	郡
速見	郡	郡	郡	郡	郡
大分	郡	郡	郡	郡	郡
北分	郡	郡	郡	郡	郡
南分	郡	郡	郡	郡	郡
大分	郡	郡	郡	郡	郡
直入	郡	郡	郡	郡	郡
玖波	郡	郡	郡	郡	郡
日津	郡	郡	郡	郡	郡
中津	郡	郡	郡	郡	郡
字佐	郡	郡	郡	郡	郡

町村農會數 三二八

所	在	地
大分市	大字	城崎町
大分市	大字	荷場町
大分市	大字	石垣町
別府市	大分	片端町
中津市	大分	中津市
日津市	大分	日津市
佐伯市	高田	佐伯市
西國郡	高田	西國郡
東國郡	高田	東國郡
速見郡	日出	速見郡
大分郡	日出	大分郡
北分郡	日出	北分郡
南分郡	日出	南分郡
大海部郡	日出	大海部郡
南野郡	日出	南野郡
直入郡	日出	直入郡
玖波郡	日出	玖波郡
日津郡	日出	日津郡
中津郡	日出	中津郡
字佐郡	日出	字佐郡

第八〇 重用物産同業組合

昭和十六年末現在

名	稱	目	的	事務所所在地	組合地域
大分縣	建業同業組合聯合會	聯合各組合ト氣脈ヲ通シ營業上ノ弊害ヲ矯正シ組合員ノ利益ヲ増進ス	營業	大分市	大分縣一圓
大分縣	南部建業同業組合	營業上ノ弊害ヲ矯正シ組合員ノ利益ヲ増進ス	營業	同	大分、南海部、北海部、大野、直入
大分縣	豐後建業同業組合	同	營業	速見郡 杵築町	速見、日田、七郡、三郡
大分縣	東國東郡建業同業組合	同	營業	東國東郡國東町	東國東郡一圓
大分縣	木蠟業同業組合	營業上ノ弊害ヲ計リ其ノ利益ヲ増進ス	營業	大分市	大分縣一圓
大分縣	度量衡同業組合	營業上ノ弊害ヲ矯正シ製作及販賣器物ノ改良ヲ圖リ組合員ノ利益ヲ増進ス	營業	同	同
大分縣	椎茸同業組合	營業上ノ弊害ヲ矯正シ組合員ノ利益ヲ増進ス	營業	同	同



大分縣木炭同業組合聯合會

西國東郡木炭同業組合

組合相互間ノ氣脈ヲ通シ業務ノ統一製品ノ改良ヲ圖リ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ヲ増進ス

西國東郡高田町 西國東郡一圓

東國東郡木炭同業組合

同上

東國東郡白杵町 東國東郡一圓

北海部郡木炭同業組合

同上

北海部郡南海部郡一圓

大野郡木炭同業組合

同上

大野郡三重町 大野郡一圓

直入郡木炭同業組合

同上

直入郡竹田町 直入郡一圓

玖珠郡木炭同業組合

同上

玖珠郡森町 玖珠郡一圓

日田郡木炭同業組合

同上

日田郡一圓

下毛郡木炭同業組合

同上

下毛郡一圓

大分縣苗木同業組合

苗木需給關係ノ圓滑及營業品ノ改良發達其ノ他營業上ノ弊害ヲ矯正ス

大分市大分 大分縣(日田郡前津江、中津江、上津江、及直入郡ヲ除ク)一圓

大分縣肥料卸商業組合

本組合ハ肥料商業ノ改良發達ヲ圖ル爲共同施設ヲナス

大分市大分 大分縣一圓

大分縣豐長鰹製造同業組合

本組合員ハ組合員共同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ販路ノ擴張並ニ製品ノ改良ヲ圖リ組合員ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的トス

同 上 下毛、宇佐、西國東三郡

大分縣牛乳搾取販賣同業組合

牛乳ノ品質ヲ改良シ營業上ノ弊害ヲ矯正シ需用者並ニ同業者ノ福利ヲ増進ス

大分市大分縣一圓

北海部郡石灰同業組合

組合員協力一致シテ新業ノ改良發達ヲ圖リ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ヲ増進ス

北海部郡津久見町 北海部郡一圓

第八一 漁業組合聯合會

昭和十六年末現在

名稱

目的

的地

區

事務所所在地

設立許可年月

大分縣漁業組合聯合會

本會所屬ノ共同ノ目的ヲ達スル爲必要ナル施設ヲ爲ス

大分縣一圓 大分市荷揚町 昭和十二年三月



第八二 水産會

事務所所在地 會員數

大分縣水産會 大分市 一〇

水産改良ノ發達及水産動物  
植物ノ蕃殖保護其他組合員  
共同ノ利益ヲ圖ルニアリ

沿海 四市八郡 大正十二年一月

昭和十六年末現在

第八三 酒造組合

種別

目的

事務所所在地

地區

契約實行許可年月

大分縣清酒聯合會

西國東郡酒造組合

東國東郡酒造組合

速見郡酒造組合

大分郡酒造組合

北海郡酒造組合

南海郡酒造組合

各郡組合ト氣脈ヲ通シ  
業ノ改良發達ヲ圖リ營業  
上ノ弊害ヲ矯正シ信用ヲ  
保持スルニアリ

大分市 大分縣一圓 明治卅六年十月  
西國東郡高田町 西國東郡一圓 同 卅五年六月  
東國東郡安岐町 東國東郡一圓 同 卅四年十月  
速見郡日出町 速見郡別府市一圓 同 卅四年八月  
大分郡大分市 一圓 同 卅五年四月  
北海郡白杵町 北海郡郡一圓 同 卅五年四月  
南海郡郡一圓 同 卅五年四月

第八四 畜産組合

種別

目的

地區

事務所所在地

設立年月

大野郡酒造組合  
直入郡酒造組合  
玖珠郡酒造組合  
日田郡酒造組合  
中津郡酒造組合  
宇佐郡酒造組合

同 同 同 同 同 同

大野郡 三重町  
直入郡 竹田町  
玖珠郡 森町  
日田郡 日田市  
中津郡 下毛郡中津市  
宇佐郡 柳ヶ浦町

大野郡 一圓 同 卅四年四月  
直入郡 一圓 同 卅三年三月  
玖珠郡 一圓 同 卅四年六月  
日田郡 一圓 同 卅四年八月  
中津郡 一圓 同 卅三年九月  
宇佐郡 一圓 同 卅三年九月

昭和十六年末現在

大分縣聯合會  
西國東郡畜産組合  
東國東郡畜産組合  
速見郡畜産組合  
北海郡畜産組合  
南海郡畜産組合  
大野郡畜産組合  
直入郡畜産組合

同 同 同 同 同 同 同 同

縣下產牛馬組合ノ振興並共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

大分縣一圓 大分市 明治卅三年十二月  
西國東郡 一圓 西國東郡高田町 大正十一年一月

東國東郡國東町 明治四十二年二月  
速見郡別府市 同 卅三年十二月  
北海郡下北津留村 同 卅五年十一月  
南海郡郡 同 卅四年十一月  
大野郡 同 卅四年十一月  
直入郡 竹田町 同 卅四年十一月







### 第八七 負債整理組合

昭和十六年末現在

郡名	組合數	組合員數	負債總額	郡名	組合數	組合員數	負債總額
總數	一五三	三、八六八	五、五八五、七八九	南海部	一四	五六五	四七六、九三三
大分市	六	二〇三	二七四、三四五	大野直入	六	六八九	一、二五三、二一九
西國東	二	七〇	四二、四七七	玖珠	三	八三	九六、二七五
東國東	二	三三	五八、七七七	日田	二	四二	三三、二一〇
速見	二	一〇一	一九四、一三一	下毛	二	四四	六四、五二二
北海	一	四六	七三、七二八	佐	一	二六〇	八八七、八三〇
大分	一	三三	四五一、二九八				四九〇、二九四

### 第八八 産業組合

(調査組合ノ分)

昭示	組合數	組合員數	出資總額	拂込出資額
昭和十六年度	三〇六	一一九、五〇一	五、一三三、一〇〇	三、二九五、八八五
昭和十五年度	三一一	一一一、五七四	四、一〇〇、五八二	二、九〇〇、七〇四
昭和十四年度	三〇一	一一五、六六三	四、〇九七、七七一	二、六九五、〇三三

### 第八九 農業倉庫

昭和十六年末

總數	大分市	別府市	府中市	津和野市	日田市	佐伯市	西國東市	東國東市	速見市	大分市	北海部	南海部	大野直入	玖珠市	日田市	下毛市	佐
經營主體數	一八二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
棟數	二九三	四	一	五	一〇	三	一八	二二	三三	四〇	八	八	三三	二〇	一七	八	二六
建坪	一四、二一〇	一一〇〇	一、五〇〇	五〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
收容力	一、二二一、一六六、〇〇〇	一、一三四、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇

### 第九〇 漁業組合

昭和十六年末現在

總數	大分市	別府市	府中市	津和野市	日田市	佐伯市	西國東市	東國東市	速見市	大分市	北海部	南海部	大野直入	玖珠市	日田市	下毛市	佐
組合數	九〇	四	二	三	一	六	七	一三	六	四	一八	一三	一	一	一	一	一
組合員數	一六、六九五	一、一〇一	二四四	三七六	六〇〇	五八八	四三八	一、四四四	三三三	三八六	四、二二	三九五	二二七	四〇八	二八七	六八四	一六一







第九四 寺院及住職

年末現在

時日眞黃曹臨淨眞天總	宗蓮宗藥洞濟土言臺數	寺院	住職
昭和十六年	一 三 五 一 二 六 八 六 六 三 五	一 三 五 一 二 六 八 六 六 三 五	一 三 五 一 二 六 八 六 六 三 五
昭和十五年	一 三 五 一 二 六 七 七 七 六 六	一 三 五 一 二 六 七 七 七 六 六	一 三 五 一 二 六 七 七 七 六 六
昭和十四年	三 二 五 一 六 二 二 〇 〇 〇 六	三 二 五 一 六 二 二 〇 〇 〇 六	三 二 五 一 六 二 二 〇 〇 〇 六

◎ 教 育

第九五 學齡兒童

三月三十一日

總數	既ニ就學ノ初期	未タ就學ノ初期
昭和十六年	一四五、七四〇	七三、七〇七
昭和十五年	一九一、九五〇	九七、二九一
昭和十四年	一九一、九八一	九七、三三三

第九六 學齡兒童就學

三月三十一日

總數	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年
男	一四五、五一九	一六七、五五三	一六七、五四〇
女	七三、五九六	八四、九七七	八五、〇〇三
總數	二一九、一一一五	二五二、五五〇	二六二、五四三



現在就學者	總數	一四三、五二九
男	七三、五九六	
女	七〇、九三三	
義務教育ヲ卒ヘタル者	總數	一四四、五三五
男	七三、一六六	
女	七一、三六九	
總數	一四三、六五〇	
男	七二、九三〇	
女	七〇、七二〇	

第九七 學齡兒童不就學 三月三十一日

就學 猶豫 就學 免除

昭和大年	男	一六〇	女	一五六	總數	三一六
昭和大年	男	一一一	女	一一〇	總數	二二一
昭和十五年	男	一六五	女	一七九	總數	三四四
昭和十五年	男	一一三	女	一一三	總數	二二六
昭和十四年	男	一八八	女	一七六	總數	三六四
昭和十四年	男	一一三	女	一一三	總數	二二六

第九八 市町村立國民學校 三月三十一日

昭和大年	本校	一〇二	分教場	一一一	總數	二一三
昭和十五年	本校	一〇六	分教場	一一一	總數	二一七
昭和十五年	本校	一〇六	分教場	一一一	總數	二一七
昭和十四年	本校	一〇八	分教場	一一一	總數	二一九

第九九 市町村立國民學校正教科兒童數及卒業者

昭和大年	總數	一七七、七九七
男	九一、六五三	
女	八六、一四四	
昭和十五年	總數	一七八、四〇一
男	九三、一八六	
女	八六、二一五	
昭和十四年	總數	一七六、八九一
男	九一、六四五	
女	八五、二四六	

八七



第一〇〇〇 市町村立國民學校教員

三月三十一日

八八

昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十六年	本科正教員		專科正教員		准教員		代用教員	
			尋常	高等	尋常	高等	尋常	高等	尋常	高等
女 一、六五三 男 一、六〇九 總數 三、二六二	女 一、六〇九 男 一、五五三 總數 三、一六二	女 一、二八三 男 三、三三三 總數 四、六一六	三、三三三	二、二七一	三、三三三	三、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二九	一、四〇〇
女 一、六五三 男 一、六〇九 總數 三、二六二	女 一、六〇九 男 一、五五三 總數 三、一六二	女 一、二八三 男 三、三三三 總數 四、六一六	三、三三三	二、二七一	三、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二九	一、四〇〇	三、三三三
女 一、六五三 男 一、六〇九 總數 三、二六二	女 一、六〇九 男 一、五五三 總數 三、一六二	女 一、二八三 男 三、三三三 總數 四、六一六	三、三三三	二、二七一	三、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二九	一、四〇〇	三、三三三
女 一、六五三 男 一、六〇九 總數 三、二六二	女 一、六〇九 男 一、五五三 總數 三、一六二	女 一、二八三 男 三、三三三 總數 四、六一六	三、三三三	二、二七一	三、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二九	一、四〇〇	三、三三三

第一〇〇一 幼稚園

幼兒ハ三月一日  
其他ハ三月末日

昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十六年	總數	
			市町村立	私立
三三	一九	二五	三三	一九
三三	一九	二五	三三	一九
三三	一九	二五	三三	一九
三三	一九	二五	三三	一九

昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十六年	組保		幼見數	
			數	數	女	男
八四	九六	三、一四五	一、一四五	一、一四五	一、一四五	一、一四五
五〇	天	二、一六〇	一、〇九	一、〇九	一、〇九	一、〇九
三三	天	九八五	四八六	四八六	四八六	四八六
八一	八七	二、八三四	一、四二七	一、四二七	一、四二七	一、四二七
四六	五三	一、八九二	九五六	九五六	九五六	九五六
三五	三三	九四二	四七四	四七四	四七四	四七四
八〇	八七	二、六八六	一、四〇一	一、四〇一	一、四〇一	一、四〇一
四三	五二	一、八八四	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三
三五	五六	二、〇三三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三

第一〇〇二 公立青年學校

生徒ハ三月一日  
其他ハ三月末日

昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十六年	農		水		產		商業及其他	
			校數	生徒	校數	生徒	校數	生徒	校數	生徒
二五	四〇	四一	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇
二五	四〇	四一	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇
二五	四〇	四一	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇
二五	四〇	四一	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇	二五	四〇



大別大國日字佐白竹中中大總  
 分府野東田佐伯杵田築津分  
 夜中中中中中中中中中中  
 間中中中中中中中中中中  
 中中中中中中中中中中  
 學學學學學學學學學學  
 校校校校校校校校校校數

昭 和 十 六 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 四 年
教員 254	教員 251	教員 246
生徒 7,708	生徒 7,143	生徒 6,800
卒業者 1,198	卒業者 1,142	卒業者 1,147
教員 251	教員 246	教員 241
生徒 7,143	生徒 6,800	生徒 6,457
卒業者 1,142	卒業者 1,147	卒業者 1,142
教員 246	教員 241	教員 236
生徒 6,800	生徒 6,457	生徒 6,112
卒業者 1,147	卒業者 1,142	卒業者 1,137

第一〇五中學校

昭 和 十 五 年	昭 和 十 四 年
27	27
651	537
283	280
251	253
87	78
30	26
33	34
97	89
140	150
76	75

生徒ハ三月一日  
 其他ハ三月末日

本表ハ師範學校及女子師範學校ノ兩附屬國民學校ヲ合算シタルモノナリ

昭 和 十 六 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 四 年
教員 27	教員 26	教員 25
總數 649	總數 586	總數 511
男子 286	男子 250	男子 216
女子 363	女子 336	女子 295
初等科兒童 286	初等科兒童 250	初等科兒童 216
高等科兒童 363	高等科兒童 336	高等科兒童 295

第一〇四附屬國民學校

昭 和 十 六 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 四 年
教員 27	教員 26	教員 25
總數 649	總數 586	總數 511
男子 286	男子 250	男子 216
女子 363	女子 336	女子 295
初等科兒童 286	初等科兒童 250	初等科兒童 216
高等科兒童 363	高等科兒童 336	高等科兒童 295

兒童ハ三月一日  
 其他ハ三月末日

第一〇三師範學校

昭 和 十 六 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 四 年
教員 27	教員 26	教員 25
總數 649	總數 586	總數 511
男子 286	男子 250	男子 216
女子 363	女子 336	女子 295
初等科兒童 286	初等科兒童 250	初等科兒童 216
高等科兒童 363	高等科兒童 336	高等科兒童 295

生徒ハ三月一日  
 其他ハ年度末















第一一六痘種

昭 和 十 六 年	善感		不善感		昭 和 十 五 年	善感		不善感		昭 和 十 四 年	善感		不善感		
	總數	第一回	第二回	總數		第一回	第二回	總數	第一回		第二回	總數	第一回	第二回	總數
總數	三、四三三	一、五九三	一、四四九	二、九四五	二、〇五三	一、八三三	一、六一八	二、八、四一四	一、九〇八	二、七、九四七	一、二、五九	二、六、三三三	三、六〇〇	一、五、七四〇	一、一、三三〇
第一期	二、五、六二九	一、三三七	一、三三七	二、七、六九〇	三、六〇〇	五、六五	二、六、三三三	三、六〇〇	五、六五	一、五、七四〇	三、六〇〇	一、五、七四〇	三、六〇〇	五、六五	一、一、三三〇
第二期	九、八二四	一、五、六三八	一、四四九	一、三三七	一、三三七	一、七、九七〇	一、三三七	一、三三七	一、三三七	一、三三七	一、三三七	一、三三七	一、三三七	一、三三七	一、三三七

第一一七鑛泉

昭 和 十 六 年	昭 和 十 五 年	昭 保 十 四 年	總數		昭 和 十 六 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 四 年
			善感	不善感			
總數	二、五九三	二、三九三	二、三九三	二、三九三	二、五九三	二、三九三	二、三九三
炭酸性泉	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
炭酸泉	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
炭酸性單純泉	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
單純泉	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八
硫黃泉	二	二	二	二	二	二	二
酸性泉	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
明礬泉	二	二	二	二	二	二	二
鐵泉	二	二	二	二	二	二	二
其他	一九一、八九五	一九一、八九五	一九一、八九五	一九一、八九五	一九一、八九五	一九一、八九五	一九一、八九五
未試驗泉	二	二	二	二	二	二	二

刑務保安

第一一八犯罪事件

昭 和 十 六 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 四 年	
發生件數	三〇、八六三	一八、七九八	一三、三六三
檢舉件數	二一、七二五	二〇、五九三	一三、五九一

第一一九拘留及科料刑人員

(省令警察犯)

科 拘 總	料 留 數	昭 和 十 六 年		昭 和 十 五 年		昭 和 十 四 年	
		總數	男女	總數	男女	總數	男女
總數	三、四三三	三、四三三	一、五	一、六七	一、四〇	二、七	二、七
男	三、三〇〇	三、三〇〇	一、四〇	一、四〇	一、四〇	一、八三	一、八三
女	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三



第一二〇興行場

昭 和 十 四 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 六 年	劇場		活動寫真		寄席				
			總數	常設	臨時	總數	常設	臨時	總數	常設	臨時
			一、三五	二九	一、三六	二、三六	三三	二、四〇	三	三	三

●裁判及登記

●民事裁判

第一二一 地方裁判所第一豫審事件件數種類ノ一

昭 和 十 四 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 六 年	訴訟總數		訴訟		結果						
			總數	舊受	新受	總數	判決	取下	和解	命令却下	其他ノ結果		
四九二	五〇〇	五〇〇	二二六	三三八	二七二	二八三	二八三	一三四	一〇五	三	二	三	四

第一二二 地方裁判所第一審事件種類ノ二

昭 和 十 四 年	昭 和 十 五 年	昭 和 十 六 年	未決	總數	人事		土地		違物及船舶		金錢		米穀		物品		證券		雜事		
					新	受	種	類	種	類	種	類	種	類	種	類	種	類	種	類	種
三〇九	三三八	三三八	三〇九	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八	三三八



















農養家信破森住魚立鐵工耕神產 登會商 支後妻未商夫  
 事登畜 產 方林宅業 業場地社業 記社事 配 成 婦 財  
 行行險託 = 組組組 木 財財整財組 有株合合總 人見登年 契  
 組組組 依 組組組 登團團理產合 限式資名 會會會 登 登 約  
 合合合登 合合合登 登登登登 登登登登 會會會 登 登 登  
 登登登 登登登 登登登 登登登 社社社社 數記人記記記  
 記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記記

三、九六三 六四五 一一一 二二二 一〇一 三三三 一九二 二二二 七二七 六六六 一三三 六六六 八八八 三三三 六六六

二、五三〇 二、五三〇 六、六六三 二〇、三三九 四、〇八九 二、二〇八 三、二七八 一、五五六 一、五五六

一一一

總種別  
 管利チ目的  
 トセサル法  
 人登記  
 財團法人  
 總數  
 別數  
 件數  
 登記稅

六、八〇一  
 二七三 四八

四、四七三

第一三三 諸種ノ登記

昭和十六年

登記	附記	豫告	抹消	強行	因記	差押	滯納
三〇	八七	五〇	九八	六	一	一	四二七
九四〇	一、九八	七〇	三、二四	四八	一	一	九七五
四	七六	一一	一三	一	一	一	一四
八	一、二〇	七	三六	一	一	一	一七
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
三三	二二	六	八	六	一	一	四〇三
九三	七六	五	二、七	四	一	一	九四五
一	一	一	一	一	一	一	九
一	一	一	一	一	一	一	二
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一

一一〇



















●社 會

第一四五 職業指導所

昭和十五年

總數	求人數		求職者數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
大分職業指導所	二四、五三〇	九、八七一	一六、三三三	六、七八七	一四、四六六	六、三三七
別府職業指導所	四、一三三	一、六八二	二、一三五	八〇八	一、八三〇	七〇九
中津職業指導所	三、七三三	二、〇四〇	二、六七八	一、四七六	二、三五〇	一、三三五
國東職業指導所	三、二二七	二、一八一	二、一三九	一、八二一	一、八三八	一、七三三
白杵職業指導所	一、六二三	三、八四	九〇四	一七一	七七七	一六三
佐伯職業指導所	二、一七一	五八〇	一、七七五	四四四	一、七一三	四三〇
竹田職業指導所	二、六八八	七三三	二、二九九	五八八	二、一〇八	五六六
日田職業指導所	二、八四九	八〇二	一、六三四	四四〇	一、四七一	四一五
四日市職業指導所	一、八六五	五九〇	九八七	三〇〇	七六〇	二五二
總計	二、三三三	八八九	一、六六一	七四九	一、六一九	七三五

第一四六 少年教護院

昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	備考
院數	一一	一一	昭和十年以後感化院ヲ少年教護院ト改稱ス
職員	五	五	
資産	四五、五八五 四五、五八五 七六三		
支出經費	八、〇四九 七、七四六 七、〇四六		
入院者年末現在	三三	三三	

第一四七 養老院

昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年
院數	一一	一一
職員	三	三
資産	二七、九七六 二八、六五〇 二四、五〇〇	
支出經費	五、七〇八 四、三九五 四、一〇四	
入院者年末現在	三七	二八

第一四八 育兒院

昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年
院數	一一	一一
職員	四	四
資産	二二、九七四 二一、六七五 二一、二七五	
支出經費	三、六〇七 三、六八八 三、五五〇	
入院者年末現在	一九	一九







第一五四 軍事扶助

昭和十六年	總數		醫療救護		生活扶助		其ノ他	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
昭和十六年	二七、八四九	七八〇、七三一	八九	三〇、二五一	二七、七六〇	七四五、六八四	—	四、七九六
昭和十五年	二八、五九三	七九〇、九五七	一五九	三七、三八一	二八、四三三	七四六、四九〇	—	七、〇八六
昭和十四年	三五、四九八	一、一六二、五四一	二二〇	三五、〇四五	三五、二七八	一、二一九、三三二	—	八、一六五

第一五五 住宅組合

昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	所在市町村數		組合數		組合員數		出費總額		總額		貸付濟		未貸付	
			組合數	組合員數	出費總額	總額	貸付濟	未貸付								
昭和十六年	六	六	六	三三	二三四	五二六、一〇〇	四八七、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和十五年	六	六	六	二四	二五四	五九五、六〇〇	五四七、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和十四年	六	六	六	二四	二五四	五八五、六〇〇	五四七、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—

◎議 會

第一五六 貴族院多額納稅者互選有權者

昭和十四年	昭和七年	大正十四年	議員 人員		總額		地租		所得稅		營業稅		一人納稅額	
			人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	最多	最少	平均	
昭和十四年	一	一	一〇〇	三四五、七三四	一八、九五八	二九六、六〇九	三〇、一六七	一四、二三九	一、四四四	三、四五七	—	—	—	—
昭和七年	一	一	一〇〇	一三一、三四四	二八、二三三	八六、四一八	一六、七八三	七、〇五六	六八五	二、三三三	—	—	—	—
大正十四年	一	一	一〇〇	二七〇、一〇一	三五、九五八	二〇五、三九六	二八、七四六	一〇、七二三	一、二六〇	二、七〇一	—	—	—	—

第一五七 衆議院員並選舉有權者

昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	議員數		選舉有權者	
				議員數	選舉有權者		
昭和十六年	七	七	七	七	一九六、一六一	—	—
昭和十五年	七	七	七	七	二〇一、三四	—	—
昭和十四年	七	七	七	七	一九六、九五五	—	—
昭和十三年	七	七	七	七	一九六、七二〇	—	—



第一五八 縣會議員並選舉有權者

昭和十六年  
昭和十五年  
昭和十四年  
昭和十三年

第一五九 縣會開會

昭和十六年  
昭和十五年  
昭和十四年  
昭和十三年

開會期間	開會日數	平均一日ノ出席數	議事件數
三〇	一六	三	六〇
三〇	二二	三〇	五七
三〇	一六	三	七三
三〇	二七	三八	七五

議員數

三三  
三三  
三三  
三三

選舉有權者

一九三、四九三  
一九五、〇六九  
一九一、六七四  
一九一、七三八

第一六〇 縣參事會

昭和十六年  
昭和十五年  
昭和十四年  
昭和十三年

第一六一 市町村會議員並選舉有權者

昭和十六年  
昭和十五年  
昭和十四年  
昭和十三年

總數	名譽職	高等官	會議日數	議決件數
二二二二	〇〇〇〇	一一一一	一一一一	一一一一

會議	議員數	選舉有權者
二二六	三、〇五八	一九三、四九三
二二三	三、二七四	一九五、〇六九
二四〇	三、三三七	一九一、六七四
二四三	三、二八四	一九一、七三八
二四三	三、〇五八	一九三、四九三
二二六	一、六八八	四四、五九六
三五五	五、八〇〇	四四、〇七一
一八六	二、三二〇	一〇四、八二六



◎本郡内ノ國富

第一六二 本縣内ノ國富ノ一 (昭和五年末現在内閣統計局推計調査)

總額	1,482,000	千円	1,000
官有	86,861		59
公有	59,298		40
私有	1,335,841		201

第一六三 本縣内ノ國富ノ二 (昭和五年末現在内閣統計局推計調査)

總額	1,482,000	千円	1,000
土地	483,373		36
鑛山	119,990		21
港灣及運河	2,242		2
橋梁	6,789		5
樹木	117,012		6

家畜及家禽	5,933		4
建築物	394,564		28
工業用機械器具	8,043		5
鐵道及軌道	49,427		3
諸車及前空機	6,879		5
船舶	3,662		2
電氣及瓦斯供給設備	33,021		2
電信及電話設備	1,550		1
水道設備	11,201		1
所藏財貨	240,052		2
家具家財	158,979		1
生產品	79,877		5
鑄貨及金銀土金	1,193		1
雜	6,521		4



































# ◎官公吏及文書

第一七三

△×印ハ併任  
△印ハ兼務  
年末現在

昭和十六年

昭和十五年

總		房官事知		總	
技屬地地書總		履書屬官知總		房主	
方方	記官	房	主	員	俸給年額
統事	事總				
計務	務部				
主	務部				
手	事官	記	事	員	俸給年額
	長數	事	事		
	數	數	數		
六六△	一六二△	三	一〇	二、一三三	一、五二八
一四一	一七	五	一〇	一、五二八	一、五二八
四八、七九二	一、一七〇	一、三三三	九、七五八	二、〇三八	一、四九三
一、一七〇	三、四〇〇	二、四五六	四、六五〇	二、〇三八	一、四九三
一、一七〇	三、四〇〇	一、三三三	九、七五八	二、〇三八	一、四九三
四八、七九二	一、一七〇	一、三三三	九、七五八	二、〇三八	一、四九三

一四七

部 時 臨				部 常						
災公	債公	寄營	土積	公雜	土事	補總	利財	公運	雜組	財諸
害債	地立	地	基金	債支	調業	助	產	合	稅	
復元	附附	買	金	債支	調業	助	蓄債	舉支	產及	
舊利	入	補	助	查			積	取	取	
費金	費金	費金	費金	費金	費金	費金	子費	費出	費出	費出
一、一九九	一、〇一八	七九七	三七八	四、一六五	三、四八四	一、八〇〇	一、五二八	一、六七五	二、八六二	四、〇〇六
一、一九九	一、〇一八	七九七	三七八	四、一六五	三、四八四	一、八〇〇	一、五二八	一、六七五	二、八六二	四、〇〇六
一、一九九	一、〇一八	七九七	三七八	四、一六五	三、四八四	一、八〇〇	一、五二八	一、六七五	二、八六二	四、〇〇六
一、一九九	一、〇一八	七九七	三七八	四、一六五	三、四八四	一、八〇〇	一、五二八	一、六七五	二、八六二	四、〇〇六
一、一九九	一、〇一八	七九七	三七八	四、一六五	三、四八四	一、八〇〇	一、五二八	一、六七五	二、八六二	四、〇〇六

一四六



















第一 名勝舊蹟

名勝 所在地

府内 城址 大分市

春日 浦 同

國分 址 同

柞原八幡宮ノ碑 同

高崎 城址 同

別府 温泉 別府市

略

記

大分縣ノ在ル所ニシテ荷揚城又ハ白雉城ノ稱アリ、慶長二年  
 福原氏初メテ此處ニ築キ後竹中重陸、日根野吉明氏ヲ經テ大給  
 氏ノ居城トナレリ今尙櫓櫓、城壁、外濠等依然トシテ舊態ヲ存  
 シ坐口ニ往時ヲ追懷セシム  
 元神宮寺浦ト稱シ天文年間大友宗麟葡萄牙人ト貿易ヲ行ヒタル  
 地ニシテ白砂青松相連リ豊後灣全景ヲ一眸ノ下ニ欽メ市附近唯  
 一ノ遊覽地ナリ前面ニ縣社春日神社アリ境内ヲ里俗蓬萊公園ト  
 稱シ古木蒼蒼頗風致ニ富ム  
 聖武帝ノ天平十五年以來建久七年大友能直ノ入府ニ至ルマテ四  
 百五十餘年間ノ國司時代ノ國府ニシテ今ニ此地方古國府ノ名ヲ  
 存セリ  
 柞原八幡宮境内ニ在リ九州ニ於ケル代表的巨樹ニシテ大正十一  
 年三月内務省告示ニ依リ天然記念物トシテ指定セラレタリ  
 菡萏海ノ一角ニ突兀トシテ聳ユル極高山嶺ニ在リ大友氏初メテ此  
 處ニ築ク爾後幾多ノ星霜ヲ經テ天正七年燒失シ逐ニ廢塞トナル  
 東ニ豊後灣ヲ擁シ西ニ由布嶋見ノ秀峰聳ヘ山水ノ景雄大ニシテ  
 明媚ナリ、海坊主ノ各地獄等靈泉到ル處ニ湧出シ其多數多量ナル  
 血ノ池、海坊主ノ四季浴客絶エズ一ヶ年四百八十三萬ニ達ス  
 海内無比ニシテ



石垣原 古戰場 同

乙原ノ瀑布 同

福澤先生舊邸 中津市

中津城址 同

自性寺 同

間々無演 同

永山城址 日田市

星限山 同

星限山 同

慶長五年大友義統、黒田孝高ト戦ヒシ地ニシテ大友ノ忠臣吉弘  
 統幸ノ碑アリ  
 別府驛ノ西南約十八町ノ地ニ在リ、雌雄二瀑アリテ盛夏尙寒ヲ  
 覺ユ  
 明治文化ノ先覺者福澤諭吉翁ノ舊居ニシテ、門、堀、居室等今  
 尙往時ノ儘ヲ存セリ  
 中津公園ノ在ル處即チ是ナリ、天正十四年黒田孝高初メテ城ヲ  
 築ク、享保元年ヨリ明治維新迄世々奥平氏ノ居城タリ園内ニ縣  
 社三所神社福澤翁記念碑アリ  
 自性寺内奥書院十疊二室棟、板戸ノ類ハ總テ池大雅ノ揮毫ニ成  
 ル書畫ヲ貼付シ稀世ノ珍品ナリ  
 中津市ノ東北海濱一里餘ノ稱ニシテ往古ヨリ名勝トシテ萬葉集  
 ニモ數首ノ和歌ヲ載ス  
 日限山ニ在リ日限山、星限山下併セ日田三丘ノ稱アリ慶長六年  
 小川光氏之ニ居ル貞享三年幕領ニ歸シテヨリ歴代々官ノ居城タ  
 リ日限山ハ三隈川中央ニ崛起セル翠巒ニシテ風光頗ル佳ナリ山  
 上ニ日限神社アリ  
 日田市街ヲ下瞰シ風景佳ナリ丘上ニ觀音堂及日田ノ代官鹽谷大  
 四郎氏ノ碑アリ  
 青碧蔚秀頂上ニ星限神社アリ

咸宜園址 同

會處宮 同

佐伯城址 佐伯市

日向泊 同

樽牟禮城址 同

高田城址 西國東郡  
高田町

三浦梅園之墓 東國東郡  
西武藏村

姫島 同郡姫島村

日出城址 速見郡  
日出町

淡窓圖書館ノ在ル處ニシテ碩儒廣瀨淡窓養會ヲ開キ文化二年以  
 降五十餘年間育英ニ努メ四千餘人ノ門下ヲ出セリ、淡窓墓ハ此  
 處ヨリ數町ヲ距ル北ニ在リ旭莊、青村林外等廣瀨累代ノ墳墓ア  
 リ昭和七年七月二十三日史跡トシテ文部大臣ヨリ指定セラレ  
 景行天皇熊襲征伐ノ時行幸セラレタル遺跡ナリト傳フ  
 鶴谷城ト稱ス建長六年毛利高政ノ築ク所ニシテ其ノ子孫奕世之  
 ニ據レリ

神武帝東征ノ時皇船ヲ寄セ給ヒシ所ナリト稱ヘ今尙御船繫ノ石  
 神ノ井等アリ  
 緒方維榮ノ據リシ所ニシテ其ノ子孫世々居城トナセリ

元西國東郡役所ノ在リシ所ニシテ大友能直ノ臣高田重定ノ居城  
 タリシガ後幾多ノ變遷ヲ經テ島原藩主松平忠房ノ所領トナリ廢  
 藩置縣ニ至ル

鴻儒梅園ノ遺骨ヲ瘞ムル所ナリ  
 風光明媚ニシテ島内ニ七不思議アリ

建式中大神仙助初メテ此處ニ築キ子孫之ニ據ル、慶長六年木下  
 延俊播州ヨリ移封セラレテ世々相傳ヘテ維新ニ至ル、城下ノ海  
 ニ鏃ヲ産ス味殊ニ美ナリ



帆足萬里之墓

杵築城址

塚原温泉  
湯之坪温泉

長曾我部信親之墓

湯ノ平温泉

白杵城址

大友宗麟ノ墓

日向泊

凝露臺

關崎燈臺

同

同杵築町

速見  
由布院村

大分  
戸次町

湯ノ平  
村

北海  
白杵町

同津久見町

同佐賀關町

同

同

碩儒萬里ノ遺骨ヲ埋ル所

延長年中大友ノ士族木村親重初メテ此處ニ築ク、正保二年松平英親高田城ヨリ移リ世襲シテ維新ニ至ル今城址ニ杵築神社アリ

泉量頗ル豊富ニシテ各温泉特殊ノ効能アリ

信親ハ元親ノ長子戸次川ノ戦ヒニ島津家久ノ爲ニ敗レ戦死ス時ニ年十八歳ナリ

其ノ境閑雅幽邃最モ避暑ニ適ス泉質透明ニシテ胃病ニ特效アリ

今ノ白杵公園ニシテ三面海ヲ繞ラシ眺望頗ル佳シ

往時九州ニ覇ヲ唱ヘシ偉人宗麟ヲ葬ル地ナリ

上古神武天皇ノ皇船繫ギ給ヒシ遺址ナリト云フ

俗稱シテ古遠見ト云フ往古國司ノ跡ナリ

脚下ニ早吸ノ水門ヲ望ミ風光佳ナリ附近ニ頼朝ノ名馬磨墨ノ産地ト稱スル牧山アリ

白ヶヶ濱  
黒ノ子燈臺  
水ノ山城址  
尺魔嶽  
鐘乳洞  
沈瀆瀨布  
大野橋  
孤松原ノ櫻  
用作ノ楓  
鱧乳洞

同南海部郡  
同東中浦郡  
同下堅田郡  
同明治村  
同野村  
同大野町  
同大野町  
同大野町  
同小富士村  
同小富士村  
同上井田村  
同川登村

一ハ純白ノ圓石ヲ以テ滿サレ一ハ漆黒ノ小石ヲ敷キ頗ル美觀タリ然モ此石夏冷カニ冬暖カナルニヨリ冷暖石ノ名アリ  
豊後水道中央水ノ子島ニアリ明治三十七年三月二十日竣功  
嘉吉元年城主佐伯讚岐守大内義隆ノ大軍ヲ敗リシ所ナリ  
山上ニ著名ノ尺魔神社アリ遐邇參拜多シ  
洞内廣ク八景アリ鐘乳石、石筍、石柱多ク本邦稀ナル奇觀ニシテ近時觀覽者踵ヲ接スルニ至レリ大正十一年三月内務省告示天然記念物ニ指定セラレタリ  
雌雄ノ二瀑アリテ咆哮怒叫無底ノ深潭ニ向ツテ投ズル所恰モ萬雷ノ轟クガ如ク眞ニ天下ノ偉觀ナリシガ現今ニ於テハ發電工事ノ爲メ水量著シク減シ只往昔ノ雄姿ヲ偲バシムルニ過ギズ  
沈瀆瀨布ヨリ數丁ノ下流即チ牧口村ト大野町トノ境ニ架橋、幅二間半長サ五十四尺水面ヨリノ高サ九十五尺純然タル釣橋ニシテ一箇ノ支柱ナク頗ル奇觀タリ  
元岡藩ノ騎射場ノアリシ所ニシテ馬場ノ東側一面ニ老櫻樹アリテ花時ノ盛觀フルニモノナシ  
數千株ノ老楓樹滿林霜ニ飽クノ頃彩雲簇々トシテ半空ニ漲リ宛然錦繡郷ニ入ルノ感アリ  
國道第三號線ニ沿ヒ舊洞ハ大正十五年二月新洞ハ同年三月ノ發見ニ係ル、洞共ニ潤ク純白ノ石筍、鐘乳石多ク銀世界、龍宮ノ蘇鐵、天上界、華蓮ノ山等ノ奇觀アリ



岡城址	直入町郡
願成院	同
魚住瀑布	同
山下公園	同來町郡
孤頭荷稻	同
景行天皇行在所	同生村郡
納池公園	同久住町郡
海石榴山	同白丹村郡
七里田温泉	同都野村郡
湯ノ原温泉	同長湯村郡

一ニ臥牛城ト云ヒ往時天下無比ノ要害ト稱セリ文治元年緒方惟榮初メテ堡ヲ築キ後文祿二年中川秀成播州ヨリ移リ其ノ子孫世々居城タリ

境内ノ愛染堂ニハ左甚五郎ノ作ト稱スル天ノ若女アリ又圓通閣ハ唐橋君山、田能村竹田ノ豊後誌ヲ編纂セシ所ナリ

雌雄ニ相連リ高サ各十數間幅八十間ニ及ブ體格トシテ千仞玉ヲ碎クノ壯觀比ナク盛夏尙肌ニ粟チ生ズ

藩主中川氏ノ別墅ニシテ園内ニ廣瀨中佐ノ銅像、畫聖竹田ノ碑山上ニハ中川神社アリテ朝鮮役ニ用ヒシ陣太鼓「サンチャヨ」國ノ釣鐘ヲ藏ス

其ノ名遠近ニ聞ユ賽者絡繹トシテ絶ユルコトナシ

天皇土蜘蛛八田ヲ滅ボシ給ヒシ所ニシテ後入祠ヲ建テ天皇ヲ祀ル

池ノ面積二反餘清水泉湧出シ極メテ清冽ニシテ避暑ニ適ス

景行天皇土蜘蛛征伐ノ時ノ古跡ナリ

炭酸泉ニシテ儂麻質斯其他ノ節關節ノ諸病ニ効アリ

泉質其他七里田温泉ニ同シク避暑ニ適セリ

角埋城址	玖珠町郡
龍門瀑布	同東飯田村郡
實泉寺温泉	同南山田村郡
川底温泉	同飯田村郡
湯野温泉	同
寒ノ地獄	同
西椎屋瀑布	玖珠町郡
天ヶ瀬温泉	同日川村郡
耶馬溪	山國川ノ上流十數ルケ村ニ亘

鎮西八郎爲朝ノ城塞ヲ築キタル所ナリト謂フ、要害頗ル堅固ニシテ天正十四年島津兵亂入ノ際大友ノ臣森五郎左衛門等之ニ據リ大ニ敵兵ヲ惱マセシ所ナリ

高サ五丈深サ二丈餘中折シテ二段トナル頗ル美觀ナリ

皮膚病其他ニ特效アリ

神經病、胃腸病等ニ特效アリ

泉水極メテ寒冽ニシテ三伏ノ夏日入浴スルモ忽チ知覺ヲ失フニ至ル皮膚病ニ特效アリ

水勢奔放シ頗ル雅趣ニ富ム

皮膚病、儂麻質斯ニ特效アリ

山國川上流一帶ノ豁谷ヲ總稱スルモノニシテ頼山陽一度其ノ詩文ヲ以テ江湖ニ紹介セシヨリ海内無比ノ勝區トシテ天下ニ喧傳セラレタルハ普ク世人ノ熟知セル所ナリ今ヤ道路坦夷殊ニ中津ヨリ溪中守實ニ至ル間(二十一哩)餘輕便鐵道アリテ四時遊覽ノ客絡繹ヲ接ス溪中十數里ノ間點返、佛坂、鏡秀峰、青洞門犬走り、耶馬溪橋、羅漢寺、古羅漢、擲筆峰、猿飛等ノ絶勝應接



九州別院

字佐郡 四日市町

ニ連ナシ然シテ探勝ノ時季ハ滿溪紅葉燃ル晚秋若クハ葉々枝チ  
謝シテ山骨露ハレ枯木花咲ク窮冬ノ時チ以テ最モ好シトス耶馬  
溪ノ中央柳坂ヨリ左ニ玖珠道ヲ上ルコト二里山移村ニ到ル之レ  
深耶馬溪(深瀬溪)ニ入ルノ關門ニシテ鳴良附近ヨリ兩山漸ク迫  
リテ溪益々深ク窟窟山、早梅橋陀佛巖人形岩等ノ神工鬼斧千姿  
萬態實ニ嘆賞ノ辭ナシ  
大正十二年三月史蹟名勝天然記念物保存法ニ依リ名勝トシテ内  
務大臣ノ指定チ受ケタリ

東椎屋瀑布

同津房郡

落下十丈頗ル雅趣ニ當ム

龍泉寺瀑布

同明治郡

美觀西椎屋瀧ニ過アルモノアリ

第二 官國幣社、縣社

社名

社格

所在地

創立年

著

名

事

項

宇佐神宮

官幣大社

字佐郡 宇佐町

和銅五年

應神天皇比賣大神神功皇后チ祀ル伊勢大  
廟ニ次ク第二ノ宗廟トシテ皇室ノ尊崇厚  
ナリ

西寒多神社

國幣中社

大分郡 東植田村

?

月讀尊天照大御神天忍穗耳尊外十三神チ  
祀ル當國ノ一ノ宮ニシテ延喜式内ノ大社  
ナリ

柞原八幡宮

國幣小社

大分市 大字八幡

天長四年

仲哀天皇應神天皇神功皇后チ祀ル古ハ勅  
使下向ノ事アリ大友氏以降世々ノ領主尊  
崇厚シ大正五年國幣小社ニ列セララル

春日神社

縣社

大字勢家

天長年間

武甕槌神天津兒屋根神外二神チ祀ル大友  
氏及竹中氏以降累世領主ノ産土神トシテ  
崇敬淺カラズ頗ル風光ニ富ム大正五年縣  
社ニ列セララル

彌榮神社

同

同大字上野

寬龜二年

素戔鳴尊大己貴命稻田姬命チ祀ル代々ノ  
國司及大友氏以降歷代領主ノ崇敬淺カラ  
ズ大正五年縣社ニ列セララル

火男火賣神社

同

別府市

?

式内ノ古祀ニシテ火軻典士命外三神チ祀  
ル

同

同

同

?

火之加具士命火燒速女命チ祀ル大正十二  
年縣社ニ列セララル

八幡朝見神社

同

同

建久七年

大鶴鶴尊譽田別命、足仲彦命、菊長足姬  
命チ祀ル昭和十二年十一月二十四日縣社  
ニ列ス

三所神社

同

中津市

安政三年

舊中津藩主ノ祖奥平貞能及二世信昌三家  
家昌チ祀ル大正五年縣社ニ列セララル







妻垣神社	鷹居八幡神社	若八幡神社	末廣神社	廣瀬神社	健男霜凝日子神社	城原八幡社	深山八幡社	大行事八幡社
同	同	同	同	同	同	同	同	同
安心院町	宇佐郡 驛館村	下毛郡 大幡村	玖珠郡 森玖珠町	直入郡 竹田町	同 城原村	直入郡 城原村	上井田郡 上井田村	同 緒方村
天平年間	和銅年間	承和年間	寛元三年	慶長年間	昭和十年	白雉二年	天安二年	孝德天皇 大化元年

仲哀天皇應神天皇功皇后外五神ヲ祭ル  
 昭和十四年三月縣社ニ列セラル  
 昭和四年縣社ニ列セラル  
 景行天皇土蜘蛛征伐ノ時駐籠ノ跡ニシテ  
 後人祠ヲ建テ、天皇ヲ祀ル  
 式内ノ古祠ニシテ健男霜凝日子神外十六  
 神ヲ祭ル  
 軍神廣瀬武夫ヲ祀ル  
 天之御中主神、大山積ノ子神ヲ祀ル  
 昭和十年二月十九日ヲ以テ縣社ニ列ス  
 大鷦鷯尊ヲ祭ル  
 應神天皇及三女神ヲ祀リ境内ノ三角ノ池  
 ハ應神天皇ノ靈ノ出現セシ所ニシテ池中  
 ニ生スル眞藤ヲ以テ靈代トシ奉齋セリ現  
 今宇佐神宮ノ攝社タリ  
 宇佐神宮ノ攝社ニシテ祭神ハ仲哀天皇神  
 功皇后應神天皇ナリ  
 比賣大神應神天皇神功皇后外六神ヲ祀ル  
 古史ニ宇佐八幡宮行幸駐轅アリシ一柱處  
 宮ハ境外ハ在リ

八幡社 同

下毛郡 耶馬溪村 建久六年

應神天皇比咩大神神功皇后仁德天皇外二  
 神ヲ祀ル 昭和十一年六月一日ヲ以テ縣社  
 ニ列ス

第三 著名ノ寺院

寺名	宗名	地名	創立年	古刹	著名事項
萬壽寺	臨濟宗	大分市	?	古刹	德治二年建立ノ金堂今尙存セリ
寶戒寺	眞言宗	同	神龜四年	檀徒夥多	
光西寺	眞言宗	同	文明年中	巨刹	
明蓮寺	同	中市	?	吉野朝ニ由緒ノ古刹タリ	
岳林寺	臨濟宗	日田市	元德二年	同	
寶陀寺	臨濟宗	西國東郡田原村	正平年中	同	
富貴寺	天臺宗	同郡田染村	養老二年	同	養老二年僧仁開一大樹ヲ得テ造リタル 三大堂ノ一ニシテ堂宇壯麗今尙存セリ
天念寺	同	同郡西都甲村	同三年	古刹	
雨子寺	淨土宗	東國東郡西武藏村	同年中	同	
泉福寺	曹洞宗	同郡豊崎村	永和元年	同	永和元年造營ノ堂宇今尙存セリ